

中小企業景況調査報告書

(第120回)

平成22年10～12月期 実 績
平成23年 1～3月期 見通し

平成23年 1 月

北海道商工会議所連合会

目 次

． 調 査 要 領	
1． 調査時点及び調査対象期間	1
2． 調査対象	1
3． 調査地域及び調査方法	1
4． 業種別・規模別回答状況	1
． 概 況	2
1． 今期の業況	
(1) 今期の業況	5
(2) 今期の売上高	7
(3) 今期の採算（経常利益）	8
(4) 今期の資金繰り	10
(5) 今期の経営上の問題点	11
(6) 今期の従業員の動向	11
(7) 今期の新規設備投資	12
2． 来期の見通し	
(1) 来期の業況	13
(2) 来期の売上高	14
(3) 来期の採算（経常利益）	14
(4) 来期の新規設備投資	15
． 業 種 別 の 動 向	
1． 製 造 業	15
2． 建 設 業	17
3． 卸 売 業	19
4． 小 売 業	20
5． サービス業	22
． 業 種 別 調 査 資 料	24

調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点 平成22年12月
- (2) 調査対象期間 平成22年10～12月期実績及び平成23年1～3月期の見通し

2. 調査対象

(1) 中小企業景況調査

「製造業・建設業」については、資本金3億円以下、又は従業員300人以下の企業、「卸売業」については、資本金1億円以下、又は従業員100人以下の企業、「小売業」については、資本金5千万円以下、又は従業員50人以下の企業、「サービス業」については、資本金5千万円以下、又は従業員100人以下の企業を対象とした。

(2) 業界動向調査

商工会議所の景気判断

道内各地商工会議所が相談指導業務等を通じて得られる地域の特徴的事例

「製造業」「建設業」「卸売業」「小売業」「サービス業」の各業界組合・企業が肌で感じる生の声を収集した。

3. 調査地域及び調査方法

- 全道商工会議所地域の中小企業に対しアンケート調査を実施（中小企業景況調査）
- 全道商工会議所を通じて地域の業界組合等へヒアリング調査を実施（業界動向調査）

4. 業種別・規模別回答状況（社数）

(1) 中小企業景況調査

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
小規模	44	60	39	64	61	268
中規模	17	13	20	11	28	89
合計	61	73	59	75	89	357
構成比(%)	17.1	20.5	16.5	21.0	24.9	100.0

(2) 業界動向調査

- ・業界動向ヒアリング先 製造業 15社、建設業 12社、卸売業 10社、
小売業 25社、サービス業 26社、合計 88社

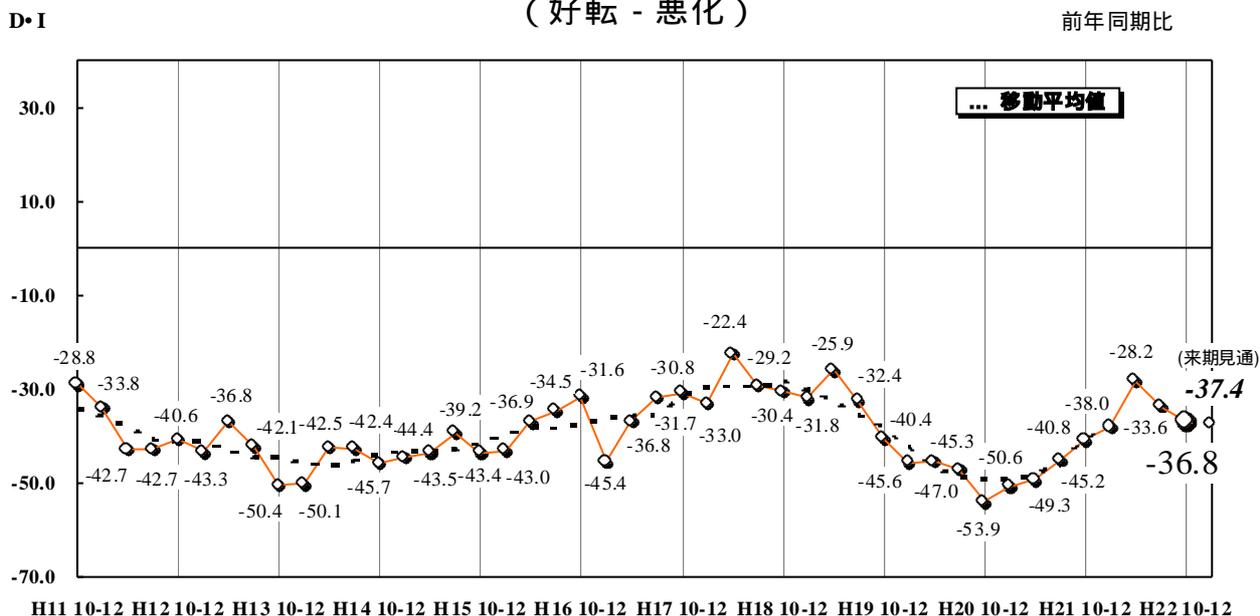
本調査結果中の「D・I」とある記号は、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差引いた値（景気動向指数）を示す。

ホームページ：URL <http://www.hokkaido.cci.or.jp/keiki/>

概況

- 業況D・Iは下降基調に転換、厳しさ一層強まる -

業況推移（全業種平均D・I）
（好転 - 悪化）



今期の業況

四半期毎に実施している、中小企業景況調査の今期（10月～12月期）の全業種平均D・I値（「好転」と答えた企業と「悪化」と答えた企業の割合の差）は、前年同期比（平成21年10月～12月期の水準と比較した今期の業況）では 36.8とマイナス幅が拡大し、前期比（平成22年7月～9月期の水準と比較した今期の業況）では 28.0となっており、前年同期比と前期比共に業況は悪化しているという見方が強い。

前回の調査（平成22年7月～9月期）時点からの推移では、全業種平均D・I値は、前年同期比では前回 33.6 今回 36.8と3.2ポイントマイナス幅が拡大し、前期比では前回 22.3 今回 28.0と5.7ポイントマイナス幅が拡大している。

業種別では、前年同期比では、製造(前回 33.3 今回 44.3)、建設(前回 34.6 今回 37.0)、卸売(前回 33.4 今回 33.9)、小売(前回 37.5 今回 37.3)、サービス(前回 29.1 今回 31.1)と、小売業を除く4業種でマイナス幅が拡大、特に製造業は11.0ポイントマイナスと大きく悪化した。

来期の業況見通しは、全業種平均D・I値で、前年同期比（平成22年1月～3月期の水準と比較した来期の見通し）では、 37.4とマイナス幅をさらに拡大する見通しとなっている。

今期の経営上の問題点として上位に挙げられているものは、全業種で「需要の停滞」(製造業55.4%、建設業44.7%、卸売業62.1%、小売業31.4%、サービス業40.0%)が依然として大きな要因となっている他、製造業では「製品加工単価の低下・上昇難」(14.8%)、建設業では「請負単価の低下・上昇難」(26.2%)、卸売業では「仕入れ単価の上昇」(7.5%)、小売業では「大型店・中型店進出競争の激化」(19.2%)、サービス業では「利用者ニーズの変化への対応」(12.5%)などの問題点が浮上している。

一方、設備投資の状況については、今期、新たに設備投資を行った企業は全業種平均で13.5%と、前回調査時(18.5%)より5.0%低下。また来期の設備投資予定についても9.5%と設備投資を控える動きが続いている。

産業別の動向

【製造業】 [業況D・I値(前年同期比) 44.3(来期見通し 51.6)]

業況D・I値(前年同期比)の前の調査(平成22年7月~9月期)時点からの推移では、前回 33.3 今回 44.3と11.0ポイントマイナス幅が拡大した。

業界組合・企業よりのコメントでは、製品加工単価の低下・上昇難による採算の悪化や取引条件の悪化を訴える声があった。

〔主なコメント〕

- ・原料単価が値上がりしたのに対し、売上単価は下降し、著しく採算は悪化した。(食品製造業)
- ・業界の競争が激しく、昨年取れた受注が今年も取れるとは限らなくなった。(印刷業)
- ・円高の影響により、輸入製品との競争が激化しており、加工単価も上げれず苦しい状況。
(機械製造業)
- ・年末商戦も盛り上がりが見られない。地域経済の停滞感を強く感じる。(飲料製造業)
- ・全体的に仕事量はあるものの、安値受注のたたきあいとなる案件が多い。(家具製造業)

【建設業】 [業況D・I値(前年同期比) 37.0(来期見通し 36.1)]

業況D・I値(前年同期比)の前の調査(平成22年7月~9月期)時点からの推移では、前回 34.6 今回 37.0と2.4ポイントマイナス幅が拡大した。

業界組合・企業よりのコメントでは、官公需要の停滞による受注の減少や、請負単価の低下・上昇難による採算の悪化の声が多い。

〔主なコメント〕

- ・公共工事及び新築件数の減少により厳しい状況が続いている。(建設業)
- ・公共事業の金額・件数ともに減少。先行きは全く不透明である。(建設業)
- ・工事資材業者が工事量減少に伴い取扱いを中止しているところも出てきた。業界は悪化の一途を辿っている。(造園工事)
- ・市場全体が停滞して活気が無く、先の予想に見通しがつかない。設備投資も中止のまま。
(電気工事業)
- ・業界内でも倒産が増えている。1月以降の補正予算を期待している。(建築・土木)

【卸売業】 [業況D・I値（前年同期比） 33.9（来期見通 32.2）]

業況D・I値（前年同期比）の前の調査（平成22年7月～9月期）時点からの推移では、前回 33.4 今回 33.9と0.5ポイントマイナス幅が拡大した。

業界組合・企業よりのコメントでは、需要の停滞による業況の悪化を訴える声が目立つ。

〔主なコメント〕

- ・水産加工品の需要増加は見られるが、持ち直す程のものにはなっていない。青果については猛暑の影響より、収穫高も上がらない状況となっている。（生鮮食品卸）
- ・仕入価格が上昇する一方で需要は少ない。仕事の取り合いで競争が厳しく、販売価格への転嫁が非常に困難な状況にある。（建築材料卸）
- ・年末の活気には乏しい状況で、相変わらず業界では先の見えない停滞感がただよう。

（農畜・水産物卸）

【小売業】 [業況D・I値（前年同期比） 37.3（来期見通 29.7）]

業況D・I値（前年同期比）の前の調査（平成22年7月～9月期）時点からの推移では、前回 37.5 今回 37.3と0.2ポイントマイナス幅が縮小した。

業界組合・企業よりのコメントでは、需要の停滞に加え、大型店・中型店進出競争の激化や個人消費の低迷などによる売上の減少の声が多い。

〔主なコメント〕

- ・例年に比べ立ち上がりから集客が少なく、クリスマスギフトを求める客数も減っていて厳しい業況にある。（小売業）
- ・依然、人口減少、消費低迷、大型店の影響のトリプルパンチで商店街自体に厳しい状況が迫っている。（小売業）
- ・お客が商店街自体に来なく、需要が全部大型店に吸い取られている。（小売業）
- ・中国産繊維の高騰で仕入単価上昇による収益悪化は避けられない。繊維業界は国内または中国以外での生産を増やし始めている。（衣料品販売）

【サービス業】 [業況D・I値（前年同期比） 31.1（来期見通 37.2）]

業況D・I値（前年同期比）の前の調査（平成22年7月～9月期）時点からの推移では、前回 29.1 今回 31.1と2.0ポイントマイナス幅が拡大した。

業界組合・企業よりのコメントでは、利用者ニーズの変化への対応ができず業況の悪化を訴える声が増えている。

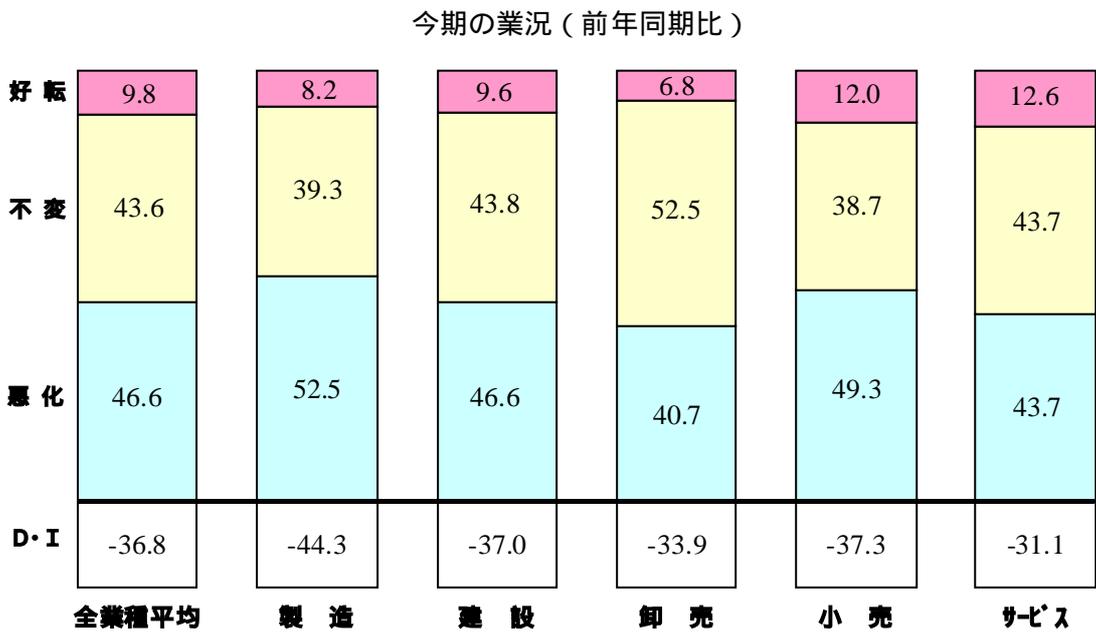
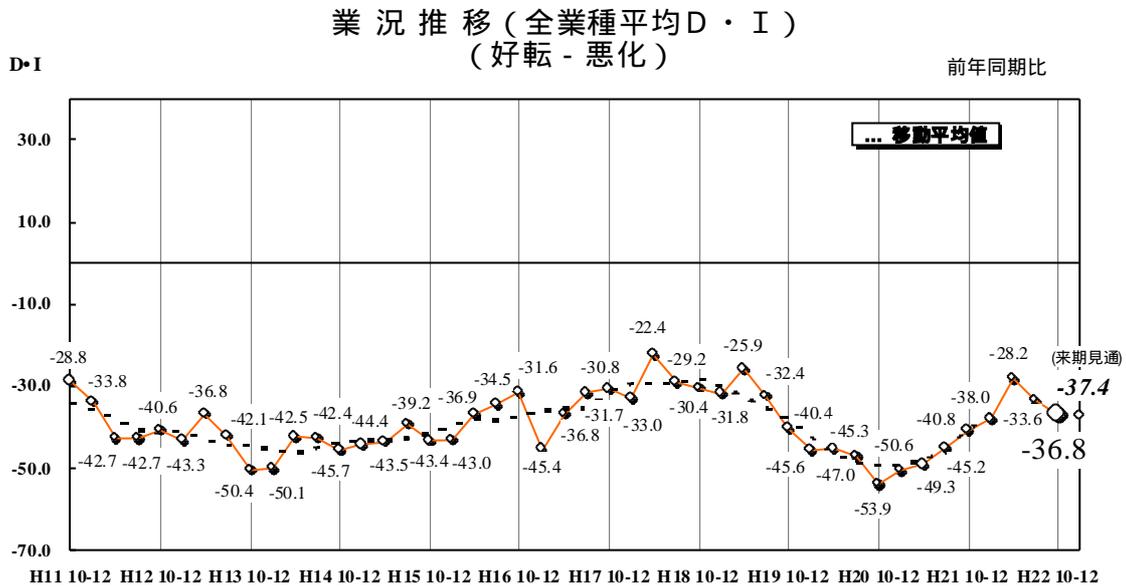
〔主なコメント〕

- ・年末の繁忙期に期待感があったが思ったより売上は伸びなかった。忘年会などが減った為、夜の飲食街に人が出ていなかったことが原因と思われる。（ハイヤー）
- ・冬のスキー修学旅行が縮小の傾向にあり、来期も期待は出来ない状況。（ペンション）
- ・インターネット利用による顧客数の減少と、低料金化で業界自体疲弊している。（旅行代理店）
- ・最低賃金の上昇により予断を許せない状況。経費の上昇分を料金に転化出来ないため経営内容は厳しい。（クリーニング協会）

1. 今期の業況

(1) 今期の業況

【前年同期比】（平成21年 10～12月期の水準と比較した今期の業況）

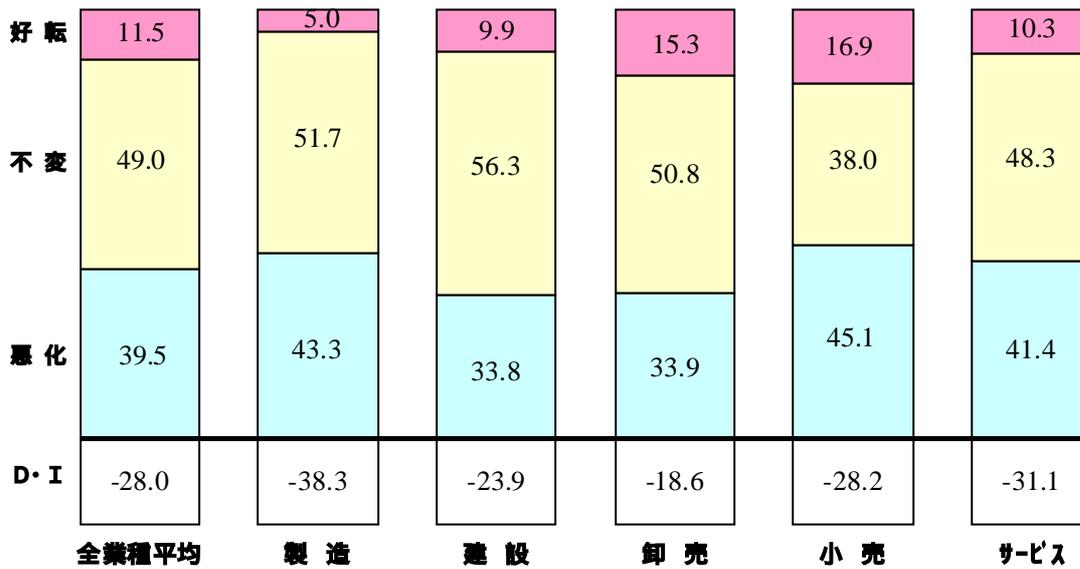


全業種平均でD・I値 **36.8**〔前回調査時（平成22年7～9月期 33.6）より3.2ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 33.3 44.3〕、建設〔前回 34.6 37.0〕
卸売〔前回 33.4 33.9〕、小売〔前回 37.5 37.3〕
サービス〔前回 29.1 31.1〕

【前期比】（平成22年 7 ～ 9 月期の水準と比較した今期の業況）

今期の業況（前期比）

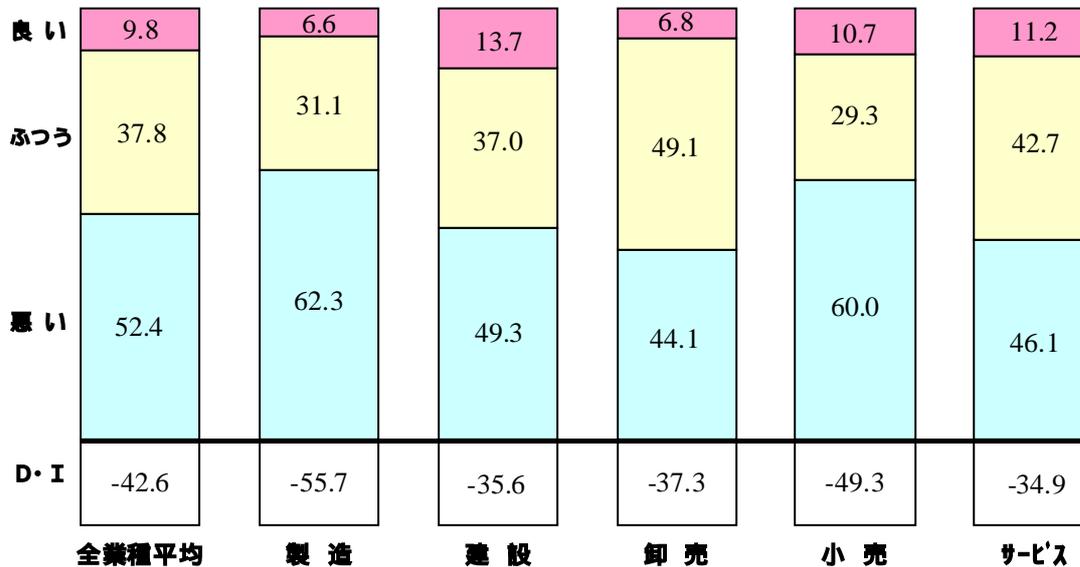


全業種平均でD・I値 28.0〔前回調査時（平成22年7～9月期 22.3）より5.7ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 26.6 38.3〕、建設〔前回 17.6 23.9〕
卸売〔前回 31.1 18.6〕、小売〔前回 27.0 28.2〕
サービス〔前回 9.5 31.1〕

【今期の水準】

今期の業況（今期の水準）



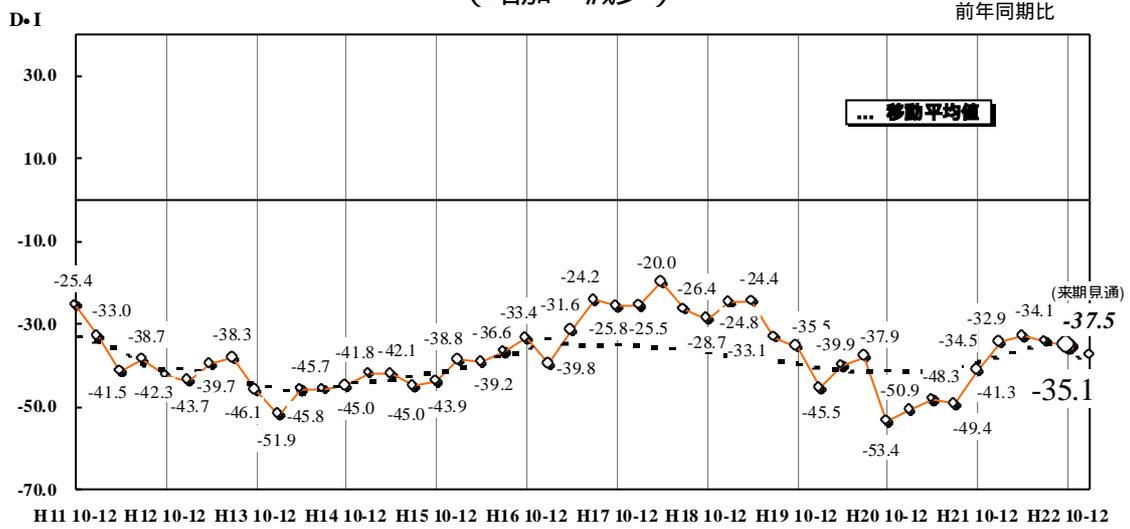
全業種平均でD・I値 42.6〔前回調査時（平成22年7～9月期 41.8）より0.8ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 37.3 55.7〕、建設〔前回 41.3 35.6〕
卸売〔前回 46.0 37.3〕、小売〔前回 48.0 49.3〕
サービス〔前回 36.8 34.9〕

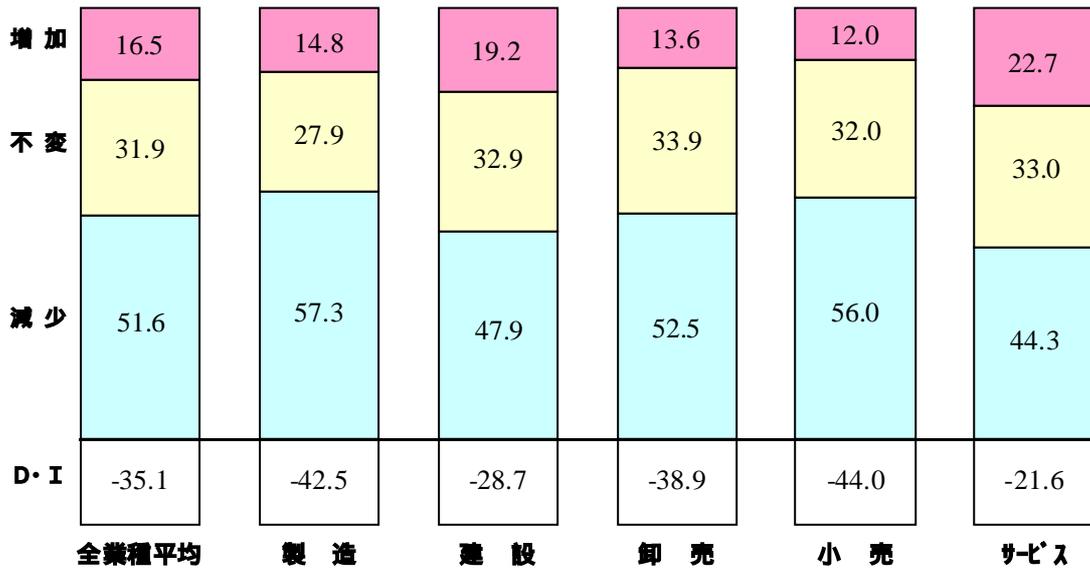
(2) 今期の売上高

【前年同期比】（平成21年 10～12月期の水準と比較した今期の売上高）

売上高推移（全業種平均D・I）
（増加 - 減少）



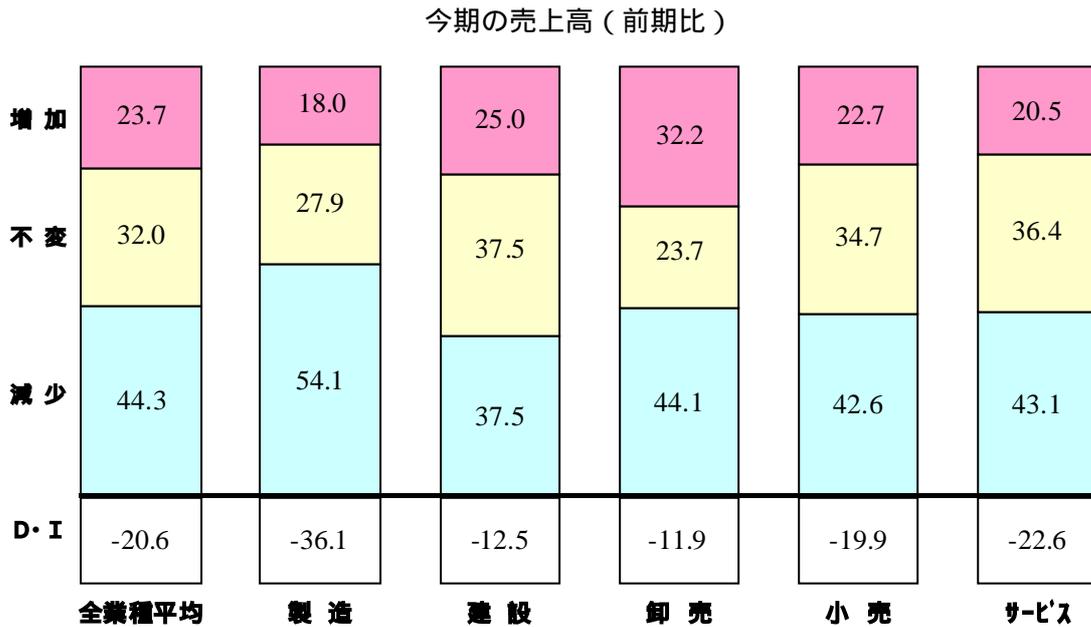
今期の売上高（前年同期比）



全業種平均でD・I値 **35.1**〔前回調査時（平成22年7～9月期 34.1）より1.0ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 38.3 42.5〕、建設〔前回 28.1 28.7〕
卸売〔前回 47.6 38.9〕、小売〔前回 33.7 44.0〕
サービス〔前回 22.8 21.6〕

【前期比】（平成22年 7 ～ 9 月期の水準と比較した今期の売上高）

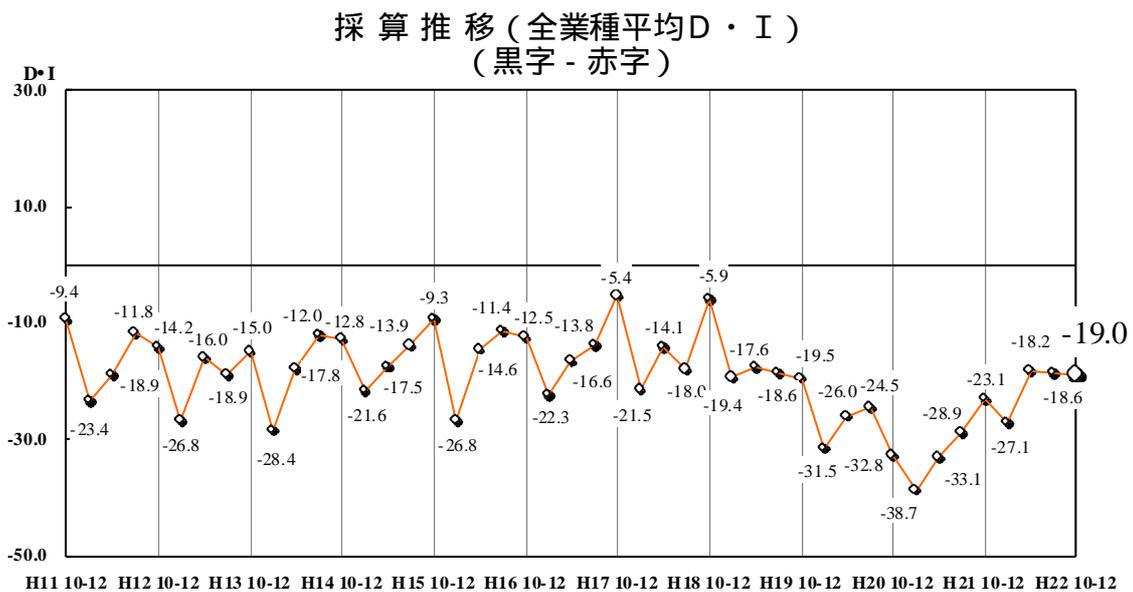


全業種平均でD・I値 **20.6**〔前回調査時（平成22年7～9月期 16.5）より4.1ポイントマイナス幅が拡大〕。

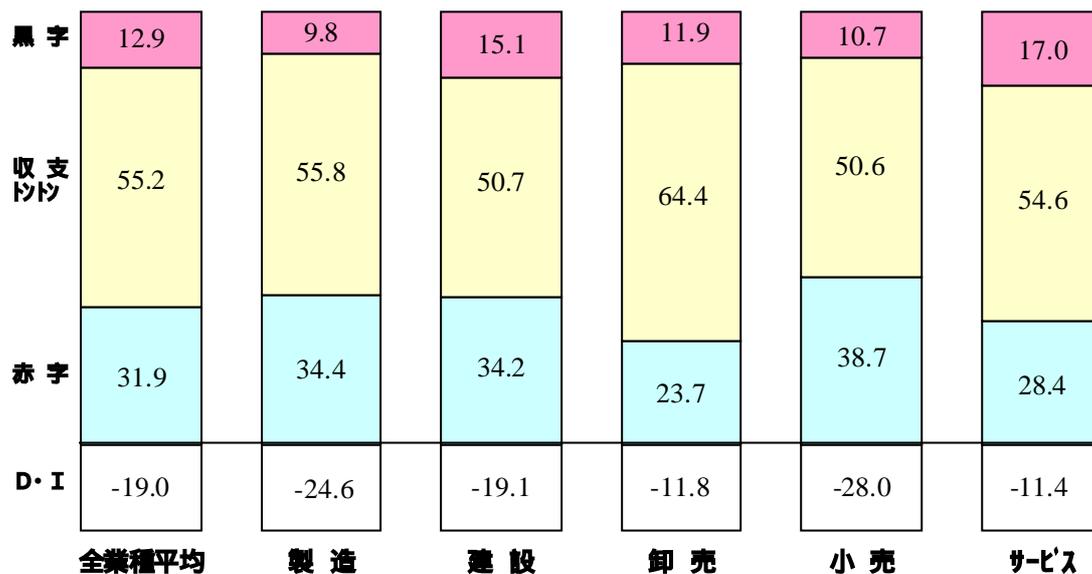
〔業種別D・I値〕 製造〔前回 26.7 36.1〕、建設〔前回 13.6 12.5〕
 卸売〔前回 25.9 11.9〕、小売〔前回 6.2 19.9〕
 サービス〔前回 10.3 22.6〕

(3) 今期の採算（経常利益）

【今期水準】



今期の採算（今期の水準）

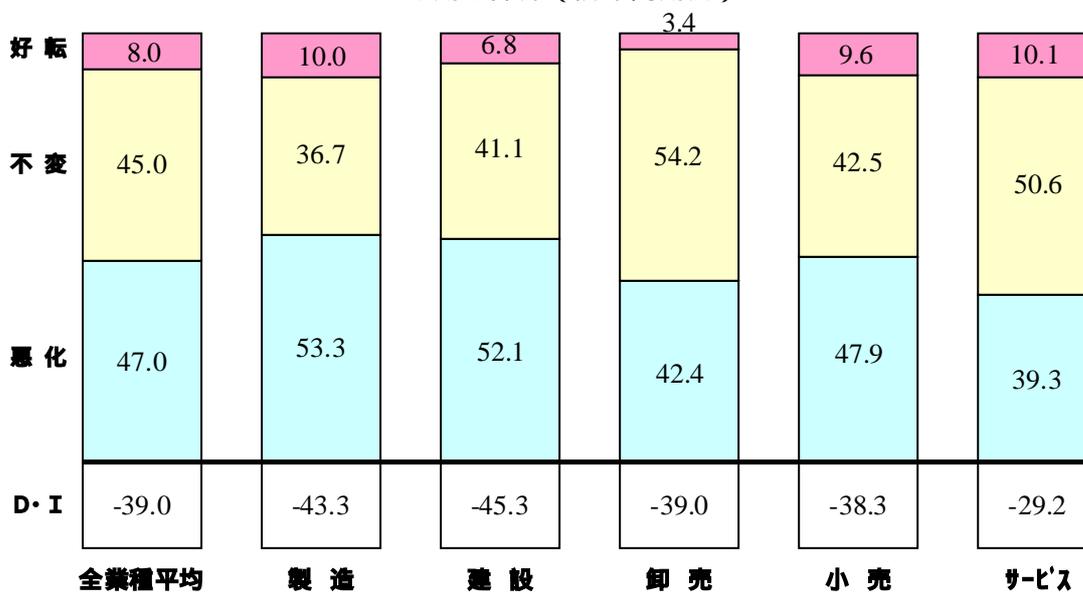


全業種平均でD・I値 **19.0**〔前回調査時（平成22年7～9月期 18.6）より0.4ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 15.3 24.6〕、建設〔前回 26.7 19.1〕
卸売〔前回 14.3 11.8〕、小売〔前回 25.3 28.0〕
サービス〔前回 11.4 11.4〕

【前年同期比】（平成21年 10～12月期の水準と比較した今期の採算）

今期の採算（前年同期比）



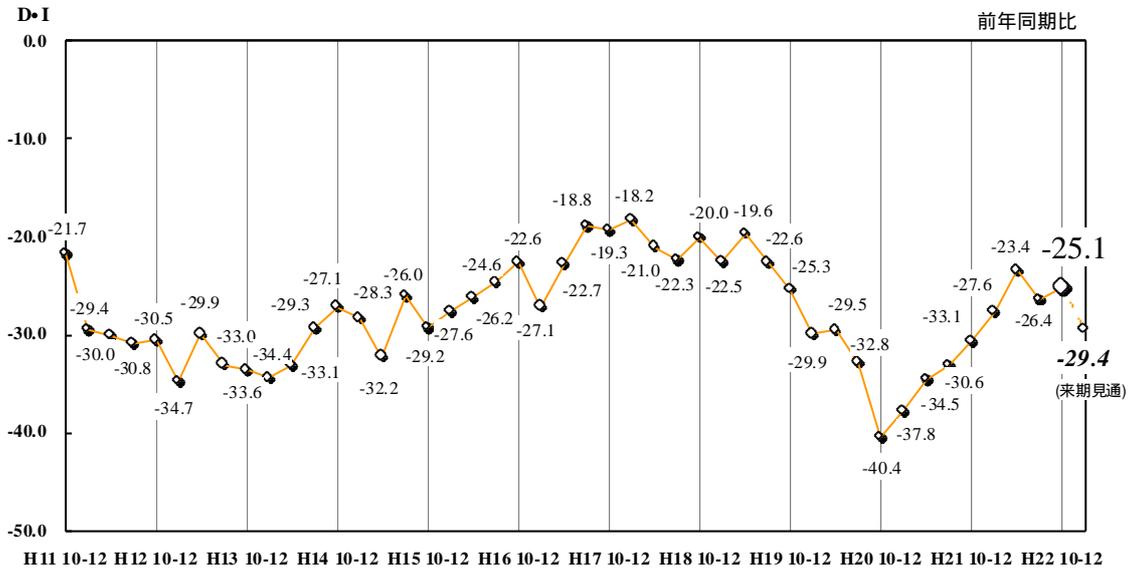
全業種平均でD・I値 **39.0**〔前回調査時（平成22年7～9月期 40.0）より1.0ポイントマイナス幅が縮小〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 33.8 43.3〕、建設〔前回 47.9 45.3〕
卸売〔前回 40.4 39.0〕、小売〔前回 34.2 38.3〕
サービス〔前回 43.8 29.2〕

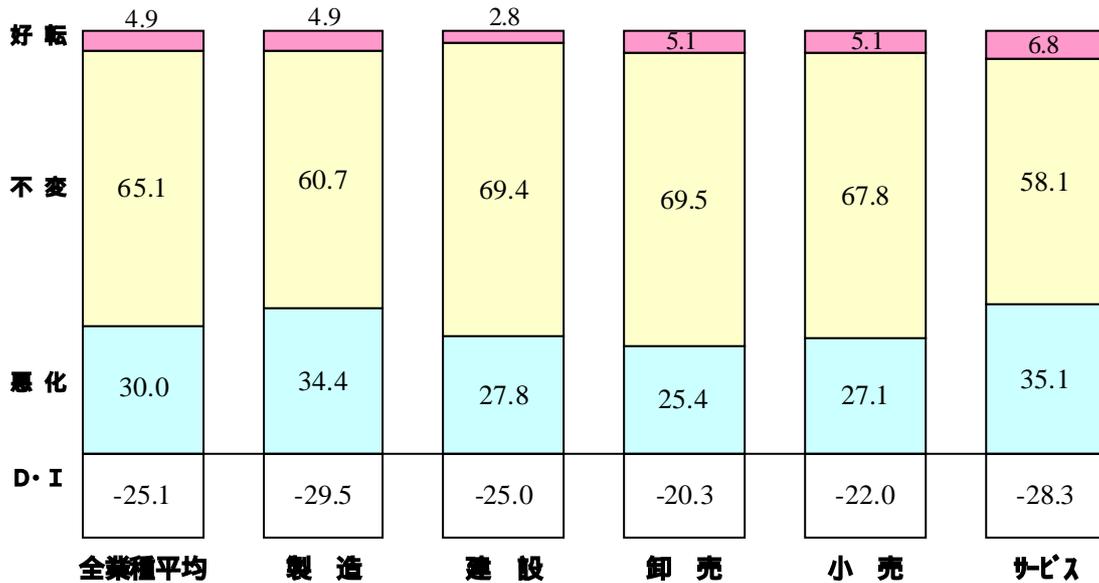
(4) 今期の資金繰り

【前年同期比】（平成21年 10～12月期の水準と比較した今期の資金繰り）

資金繰り推移（全業種平均D・I）
（好転 - 悪化）



今期の資金繰り（前年同期比）



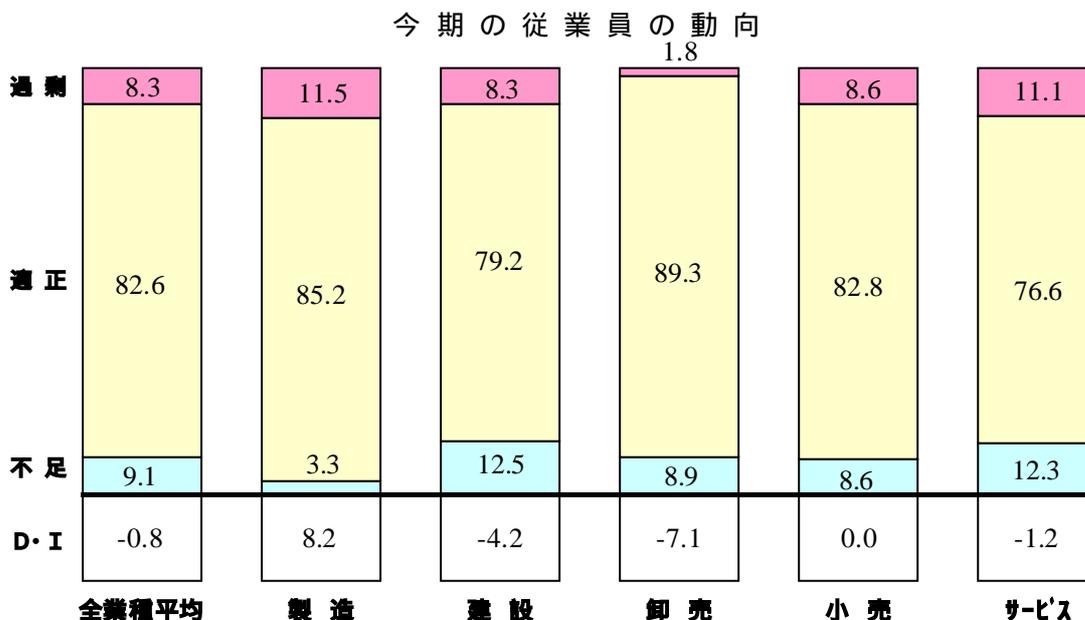
全業種平均でD・I値 **25.1**〔前回調査時（平成22年7～9月期 26.4）より1.3ポイントマイナス幅が縮小〕。前回調査時に比べ、D・Iはマイナス幅が縮小しているが、総じて全業種ともに不変とする回答が過半数を超えている。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 25.4 29.5〕、建設〔前回 33.8 25.0〕
卸売〔前回 12.7 20.3〕、小売〔前回 28.7 22.0〕
サービス〔前回 31.3 28.3〕

(5) 今期の経営上の問題点 (1位に挙げられた項目)

製造業	「需要の停滞」	(55.4%) [前回 42.2%]
	「製品(加工)単価の低下・上昇難」	(14.8%) [前回 13.0%]
	「取引条件の悪化」	(5.6%) [前回 3.7%]
建設業	「官公需要の停滞」	(30.9%) [前回 32.1%]
	「請負単価の低下・上昇難」	(26.2%) [前回 23.2%]
	「民間需要の停滞」	(13.8%) [前回 21.7%]
卸売業	「需要の停滞」	(62.1%) [前回 60.6%]
	「仕入れ単価の上昇」	(7.5%) [前回 3.4%]
	「代金回収の悪化」	(5.7%) [前回 1.7%]
小売業	「需要の停滞」	(31.4%) [前回 29.1%]
	「大型店・中型店進出競争の激化」	(19.2%) [前回 10.5%]
	「消費者ニーズの変化への対応」	(12.3%) [前回 11.8%]
サービス業	「需要の停滞」	(40.0%) [前回 43.4%]
	「利用者ニーズの変化への対応」	(12.5%) [前回 8.6%]
	「大企業進出による競争の激化」	(8.8%) [前回 8.6%]

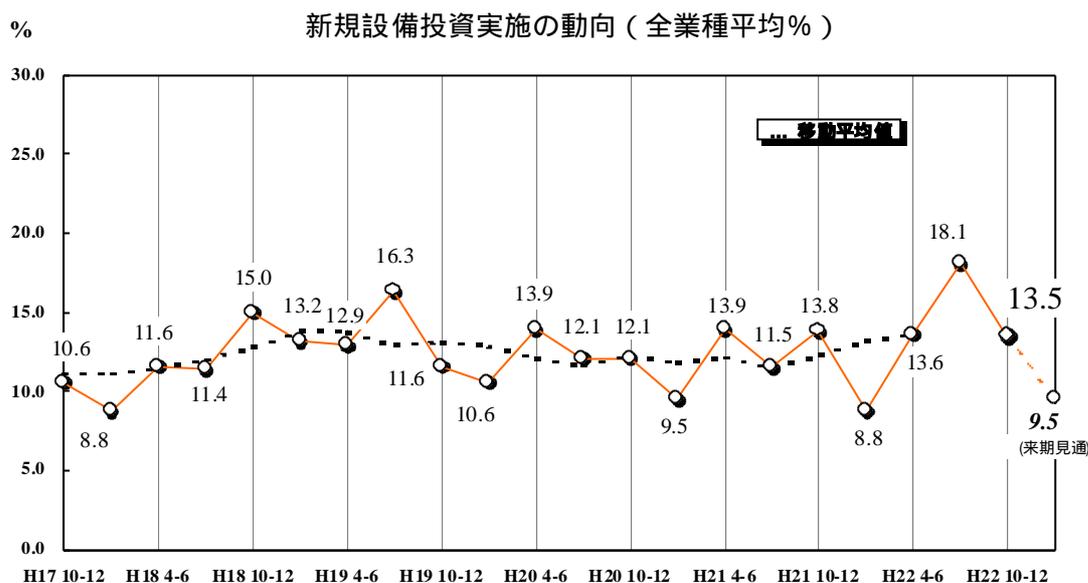
(6) 今期の従業員の動向



全業種平均でD・I値では 0.8〔前回調査時(平成22年7~9月期 3.4)〕と、依然「適正」(82.6%)とする企業が大勢を占めている。

[業種別D・I値] 製造〔前回 1.7 8.2〕(適正85.2%)
 建設〔前回 8.1 4.2〕(適正79.2%)
 卸売〔前回 1.6 7.1〕(適正89.3%)
 小売〔前回 9.5 0.0〕(適正82.8%)
 サービス〔前回 2.6 1.2〕(適正76.6%)

(7) 今期の新規設備投資



（単位％）

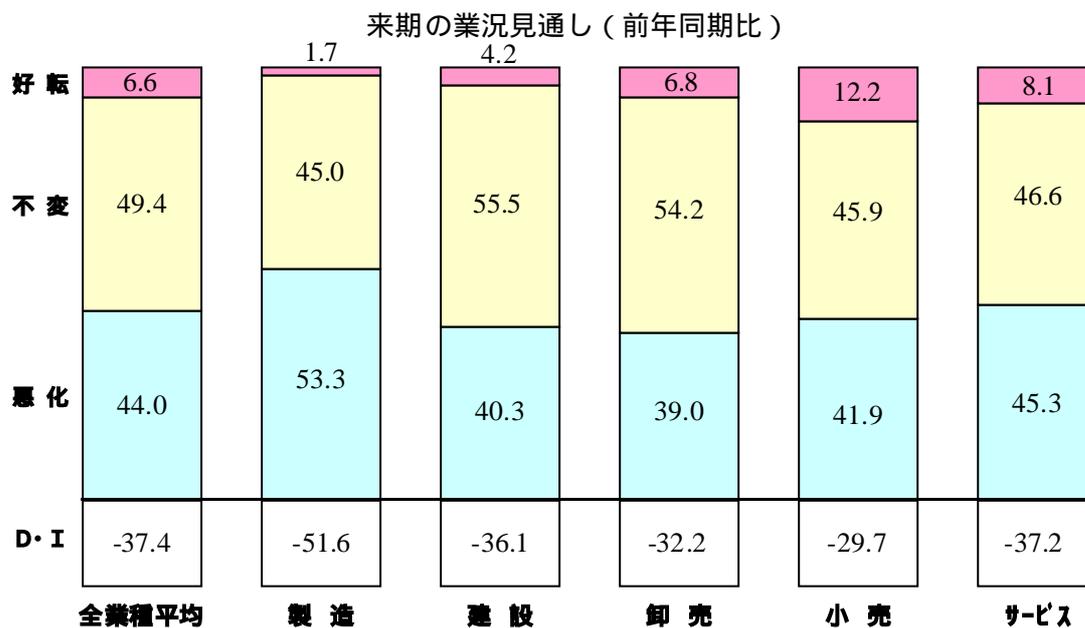
	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全業種平均
実施した	16.7	11.1	8.6	10.7	20.2	13.5
土地	0.0	12.5	40.0	0.0	5.6	11.6
工場建物、建物、店舗	20.0	0.0	0.0	12.5	16.7	9.8
生産・販売・サービス設備、建設機械	40.0	0.0	0.0	37.5	33.3	22.2
車両運搬具	40.0	75.0	80.0	37.5	5.6	47.6
倉庫・駐車場等の付帯施設	30.0	0.0	20.0	12.5	11.1	14.7
OA機器	20.0	25.0	0.0	25.0	61.1	26.2
厚生施設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	10.0	0.0	20.0	25.0	0.0	11.0
実施していない	83.3	88.9	91.4	89.3	79.8	86.5

新たに設備投資を実施した企業は平均で13.5%〔前回調査時（平成22年7～9月期18.1%）〕、業種別では製造〔前回20.3% 16.7%〕、建設〔前回12.2% 11.1%〕、卸売〔前回17.7% 8.6%〕、小売〔前回17.5% 10.7%〕、サービス〔前回23.0% 20.2%〕と、全業種について前回調査時の水準を下回った。

2. 来期の見通し

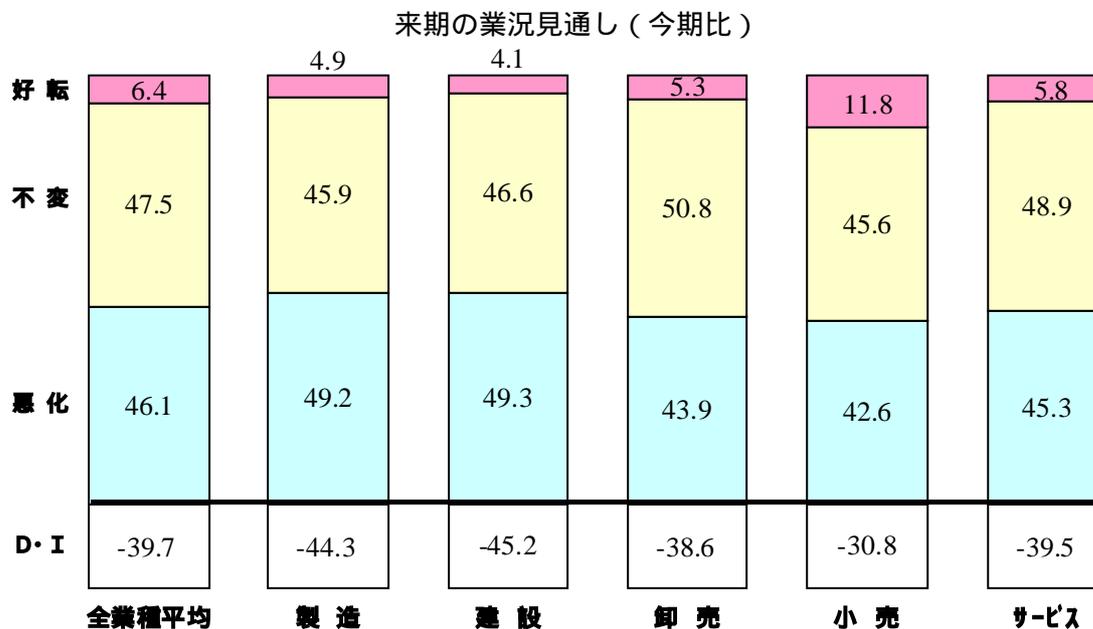
(1) 来期の業況

【前年同期比】（平成22年1～3月期の水準と比較した来期の見通し）



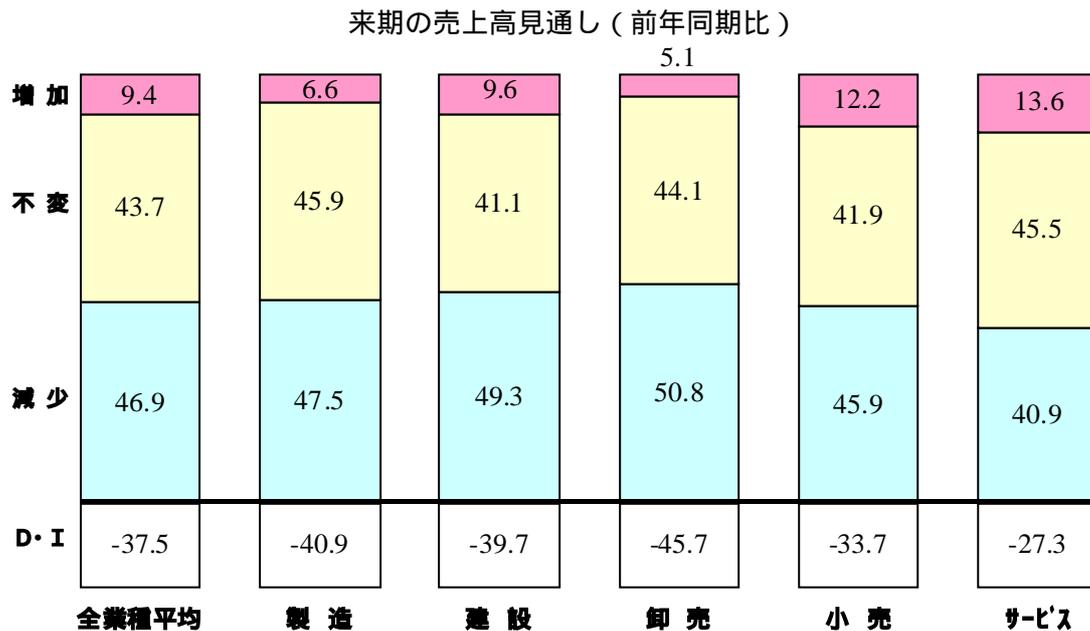
全業種平均でD・I値 **37.4**〔今期の業況（前年同期比 33.7）より3.7ポイントマイナス幅が拡大〕と、業況は依然低迷が続く。

【今期比】（平成22年10～12月期の水準と比較した来期の見通し）



(2) 来期の売上高

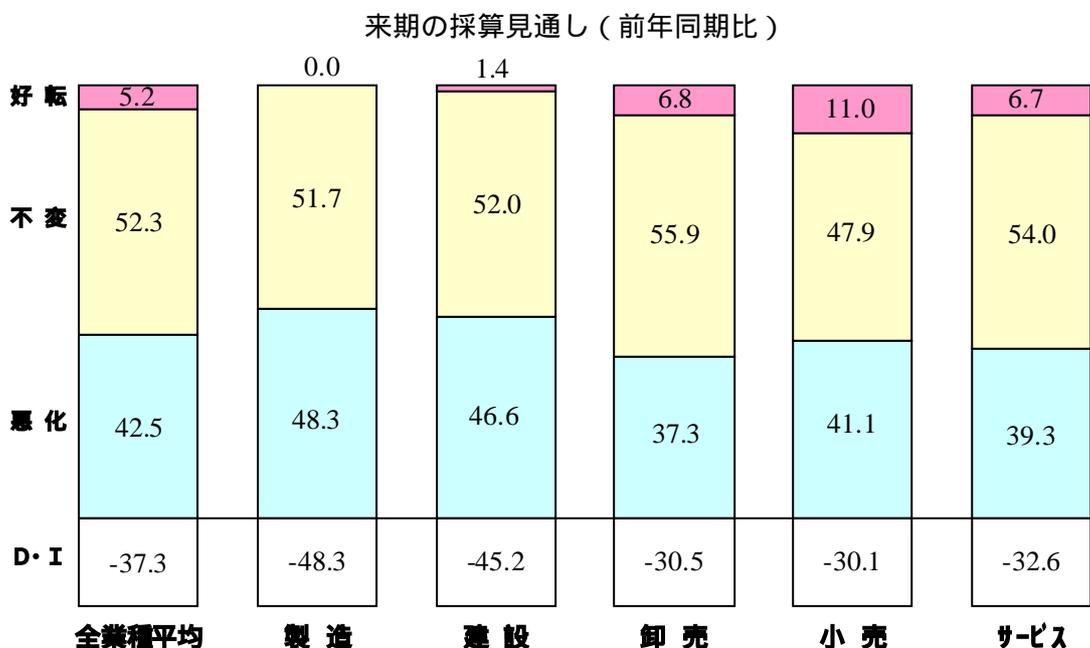
【前年同期比】（平成22年1～3月期の水準と比較した来期の見通し）



全業種平均でD・I値 37.5〔今期の売上高（前年同期比 28.5）より9.0ポイントマイナス幅が拡大する見通し〕。

(3) 来期の採算（経常利益）

【前年同期比】（平成22年1～3月期の水準と比較した来期の見通し）



全業種平均でD・I値 37.3〔今期の採算（前年同期比 36.5）より0.8ポイントマイナス幅が拡大する見通し〕。

(4) 来期の新規設備投資

(単位%)

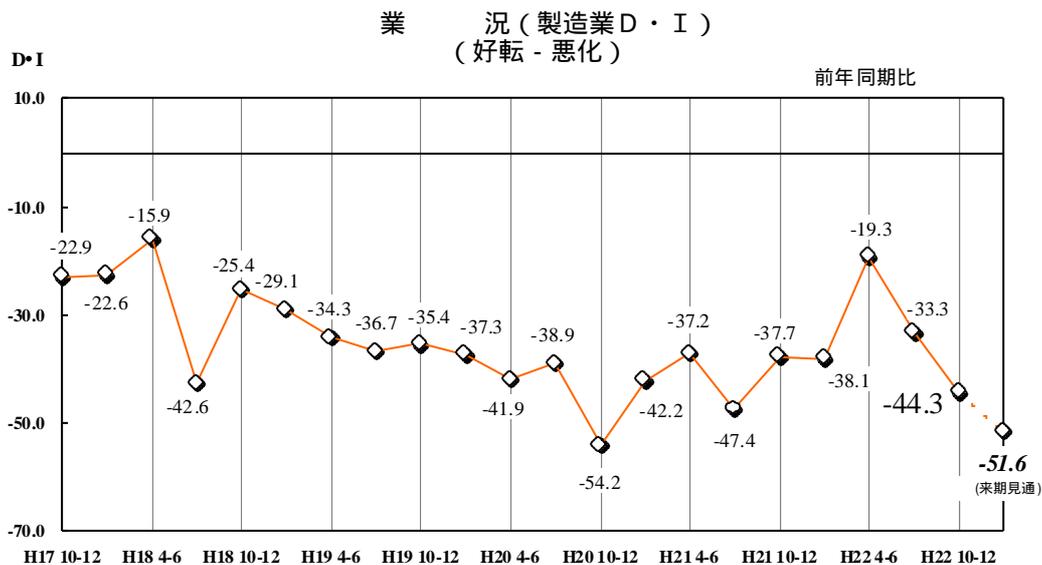
	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全業種平均
実施する	11.9	5.8	3.5	8.0	18.4	9.5
土地	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	2.5
工場建物、建物、店舗	0.0	0.0	0.0	16.7	43.8	12.1
生産・販売・サービス設備、建設機械	42.9	25.0	0.0	33.3	50.0	30.2
車両運搬具	14.3	50.0	50.0	33.3	12.5	32.0
倉庫・駐車場等の付帯施設	0.0	25.0	0.0	0.0	12.5	7.5
O A 機器	28.6	25.0	0.0	16.7	31.2	20.3
厚生施設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	28.6	0.0	50.0	0.0	0.0	15.7
実施しない	88.1	94.2	96.5	92.0	81.6	90.5

新たに設備投資を予定している企業は全業種平均で**9.5%**となっており、今期(13.5%)を下回る見通し。

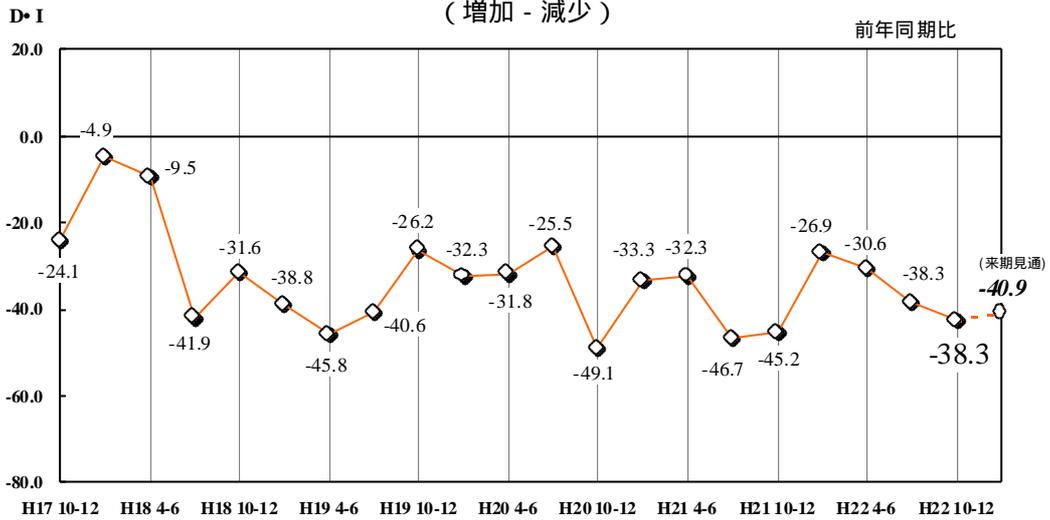
業種別では、製造〔今期16.7% 11.9%〕、建設〔今期11.1% 5.8%〕、卸売〔今期8.6% 3.5%〕、小売〔今期10.7% 8.0%〕、サービス〔今期20.2% 18.4%〕となっている。

業種別の動向

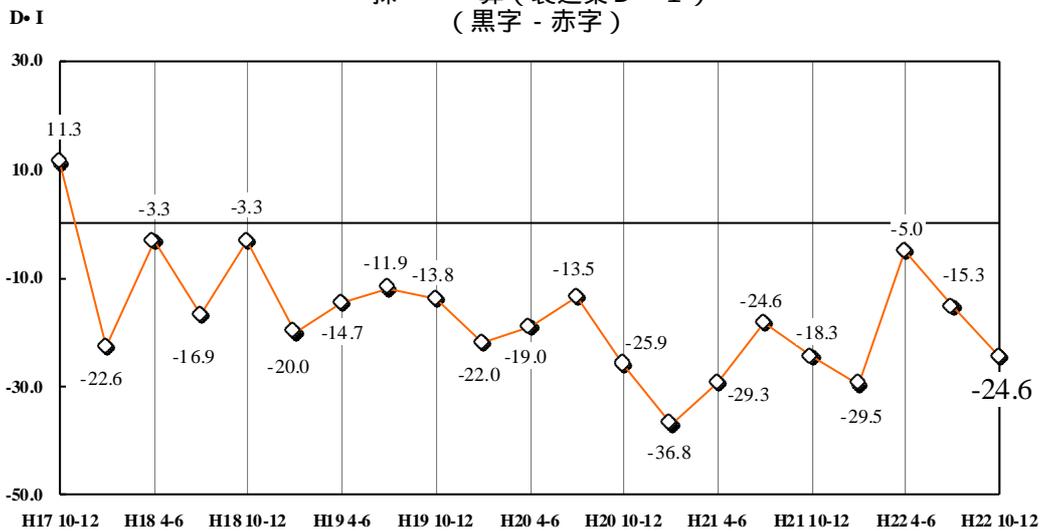
(1) 製造業



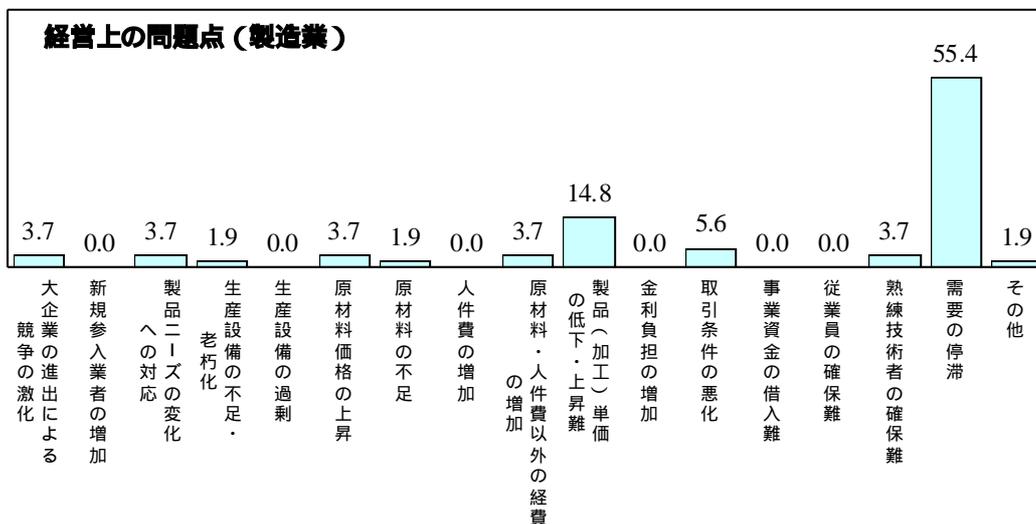
売上高（製造業D・I）
（増加 - 減少）



採算（製造業D・I）
（黒字 - 赤字）



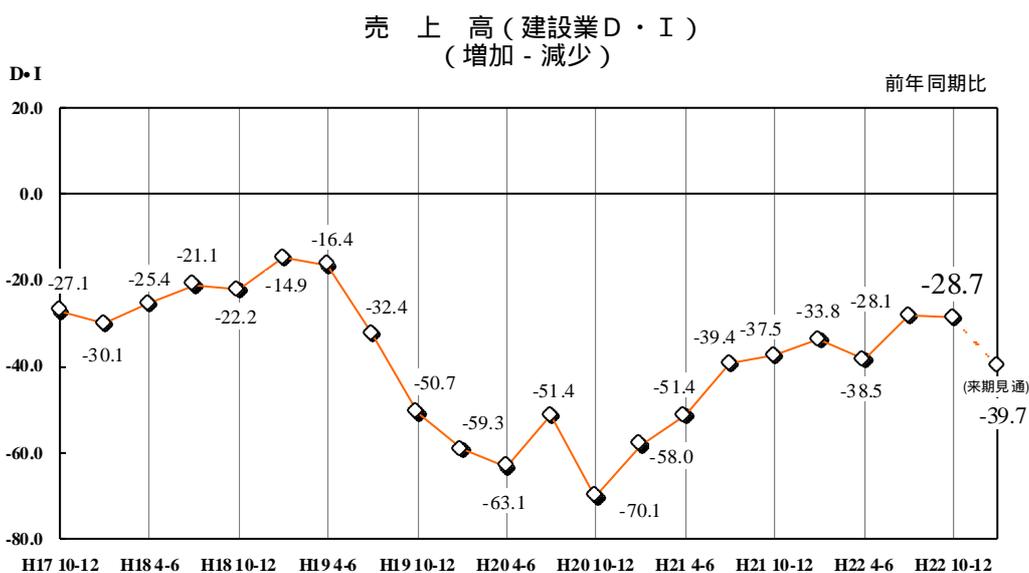
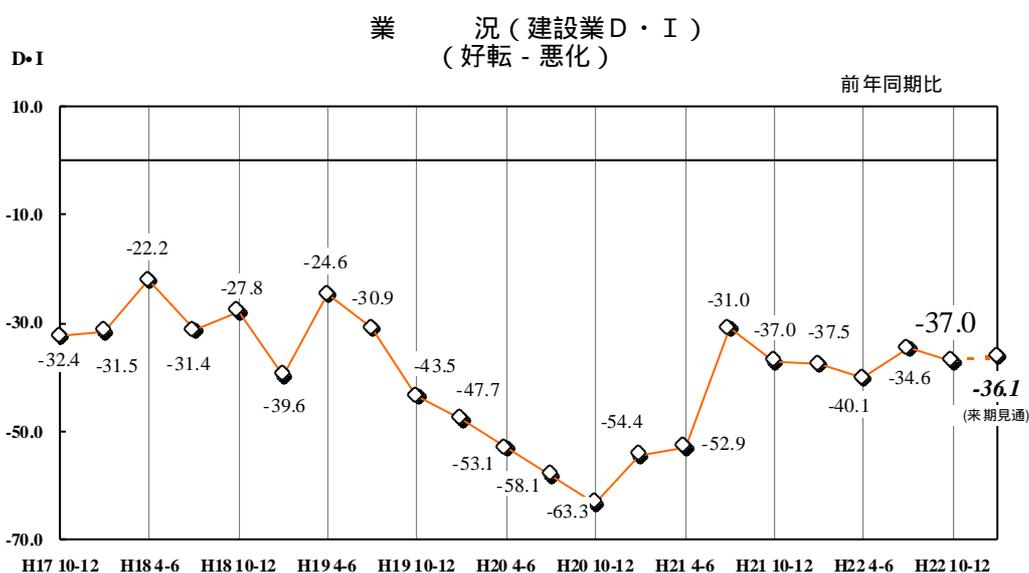
経営上の問題点



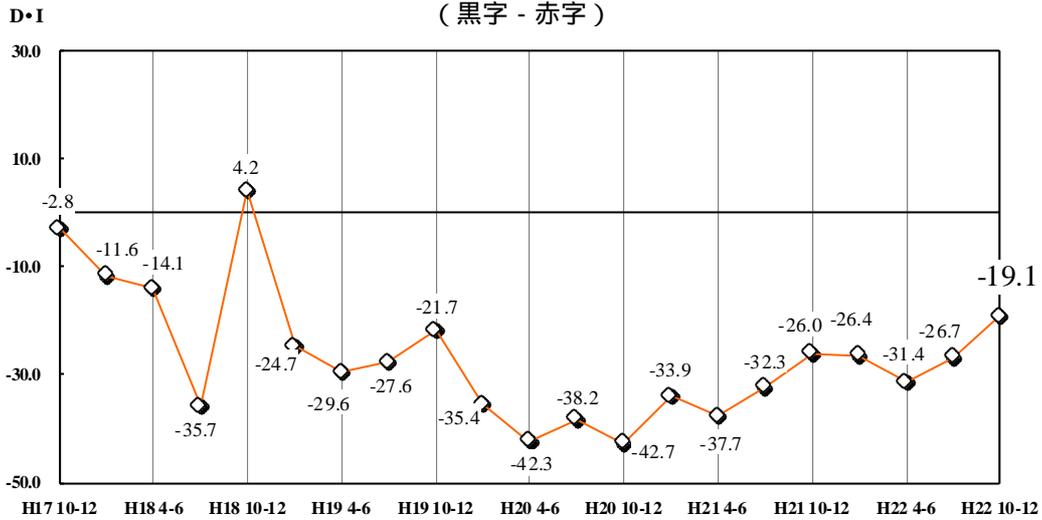
その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	29.5	31.1	36.1 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	7.4	10.9 (今期比)
短期 "	-----	2.0	4.0 (今期比)
設 備 操 業 率	42.4	-----	35.6 (前年同期比)

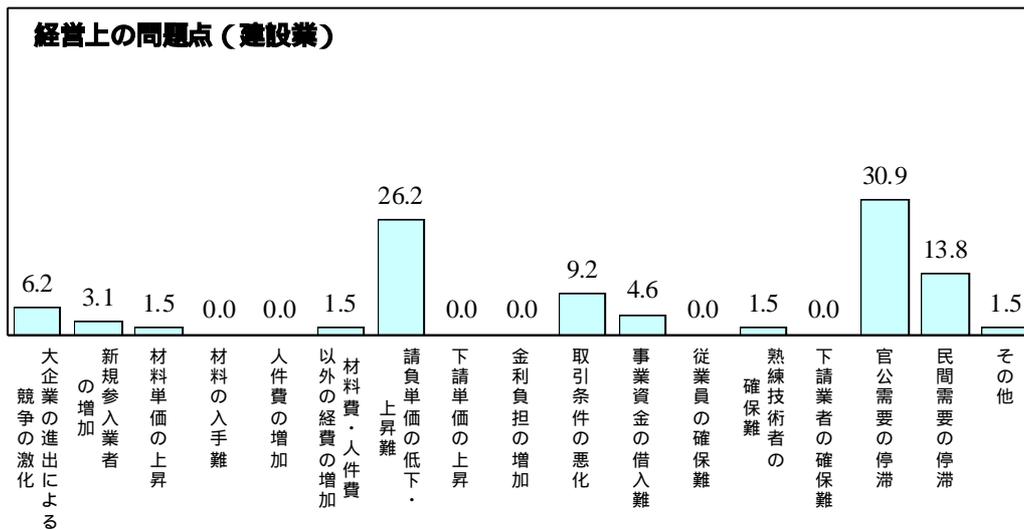
(2) 建 設 業



採 算 (建設業 D・I)
(黒字 - 赤字)



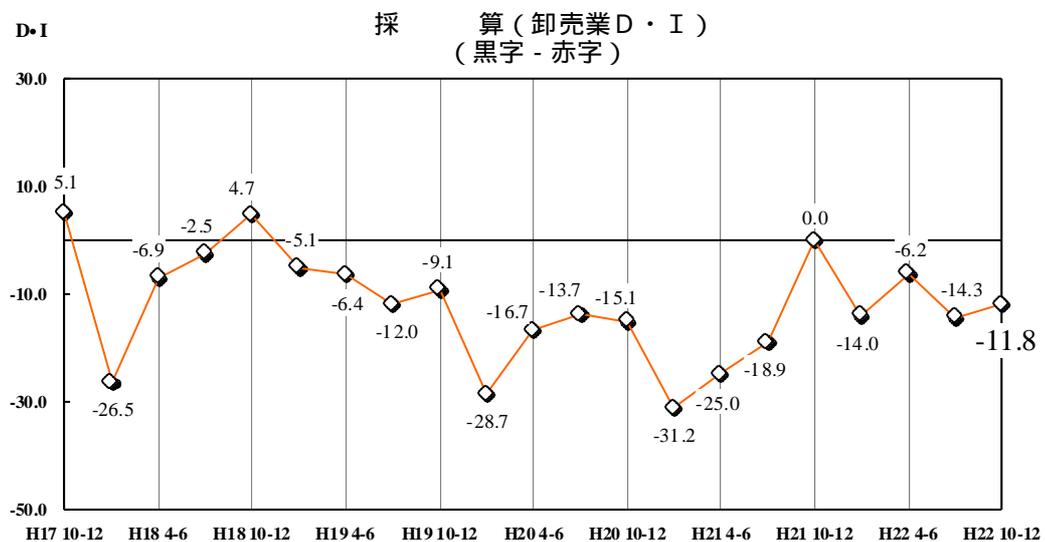
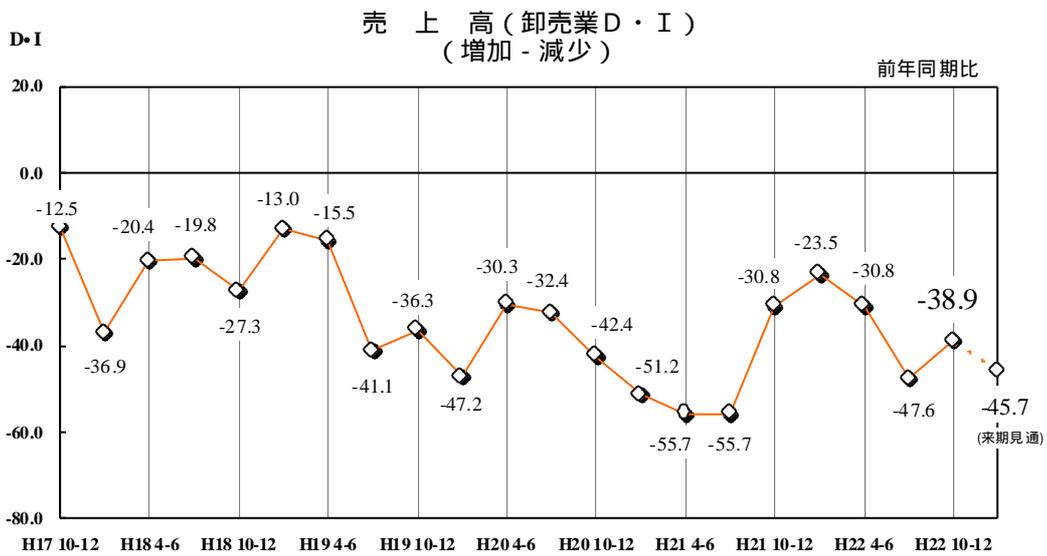
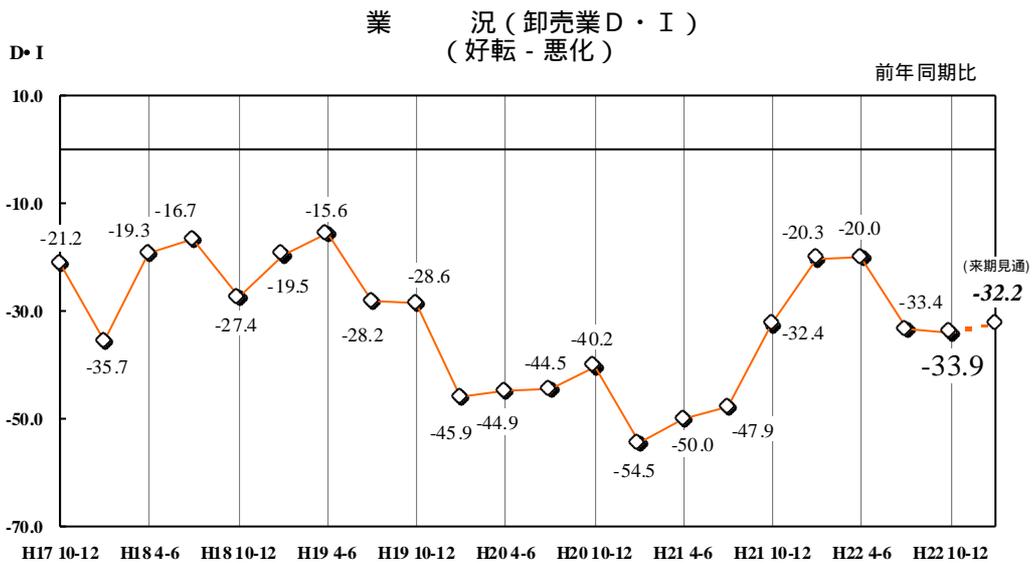
経営上の問題点



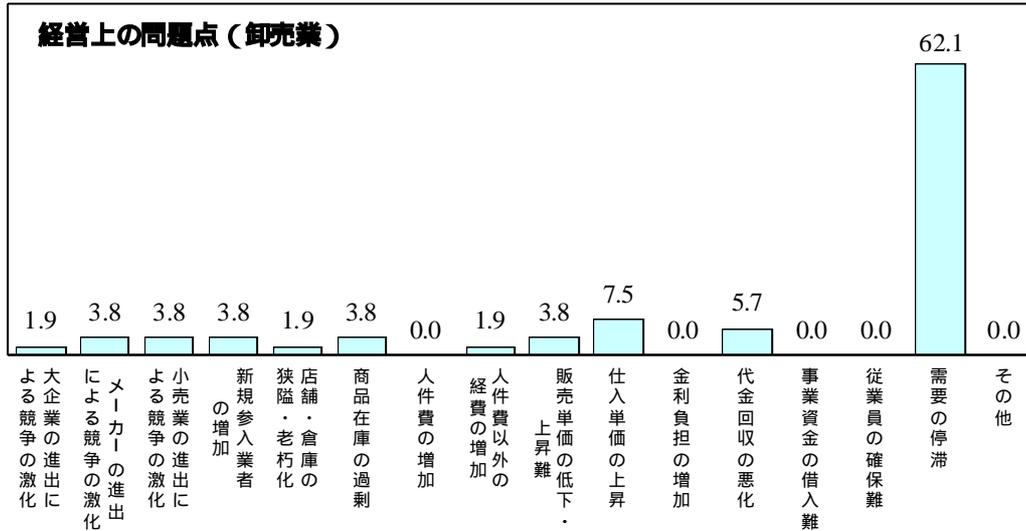
その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	25.0	21.2	30.5 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	13.2	14.7 (今期比)
短期 "	-----	10.4	10.4 (今期比)
受注(新規契約工事)額	36.6	-----	32.4 (前年同期比)

(3) 卸 売 業



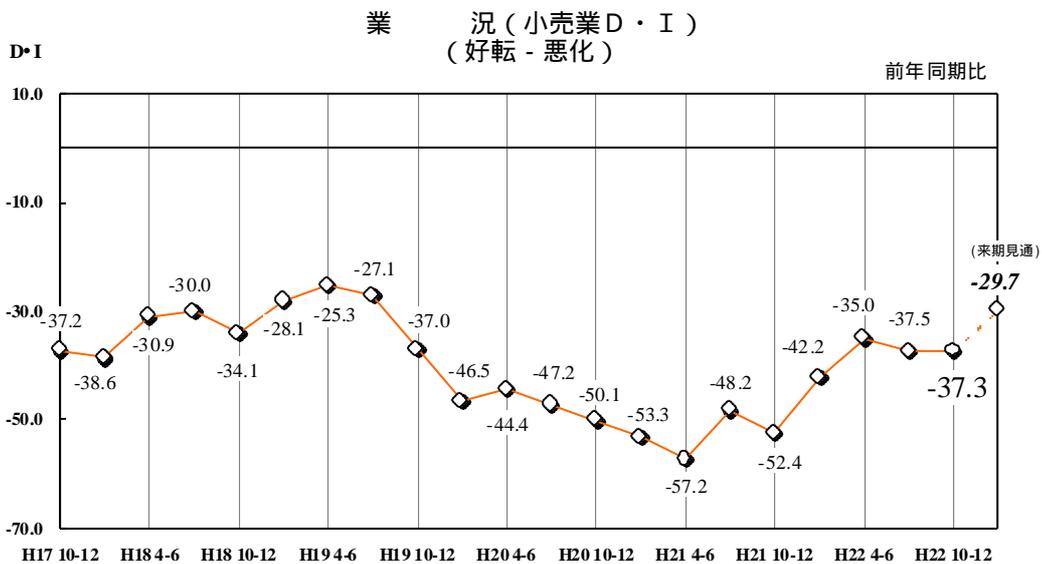
経営上の問題点

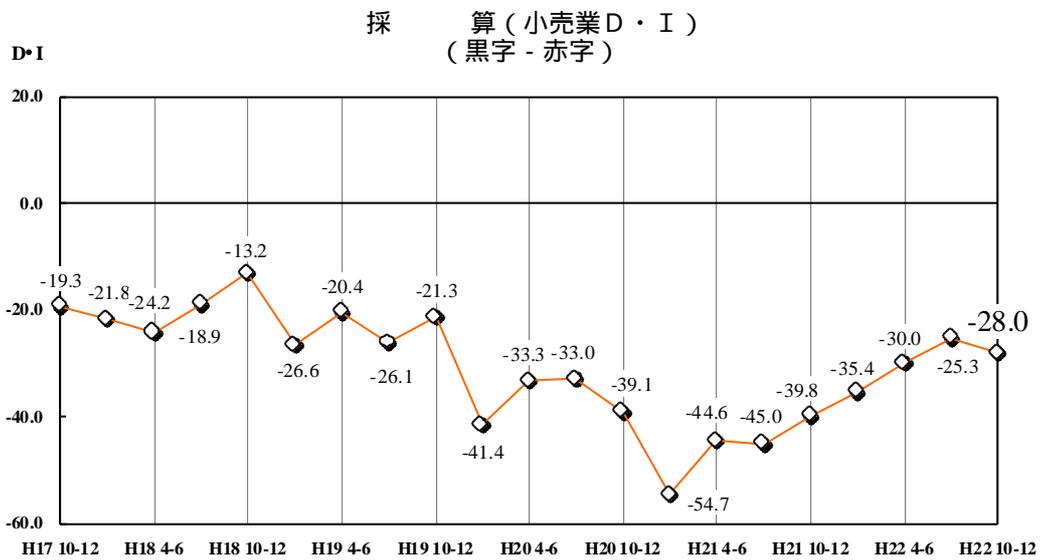
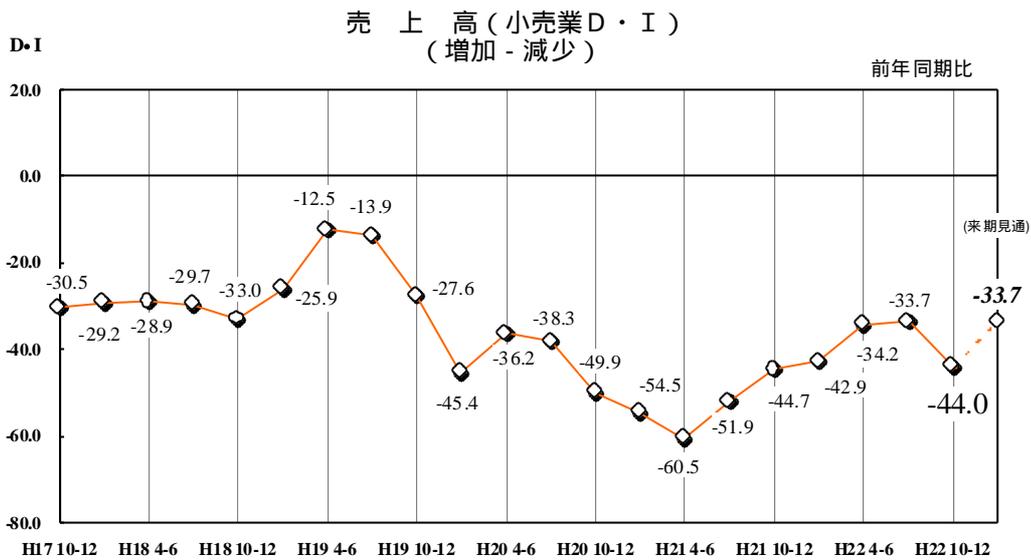


その他（D・I値）

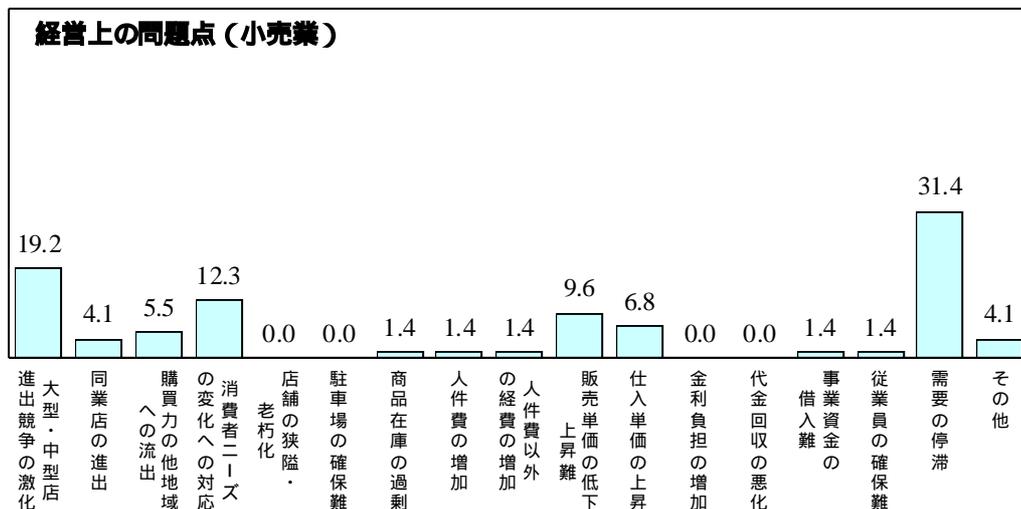
	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資金繰り	20.3	13.5	22.0 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	0.0	5.4 (今期比)
短期 "	-----	1.9	0.0 (今期比)
商品在庫数量	29.3	-----	29.4 (前年同期比)

(4) 小 売 業





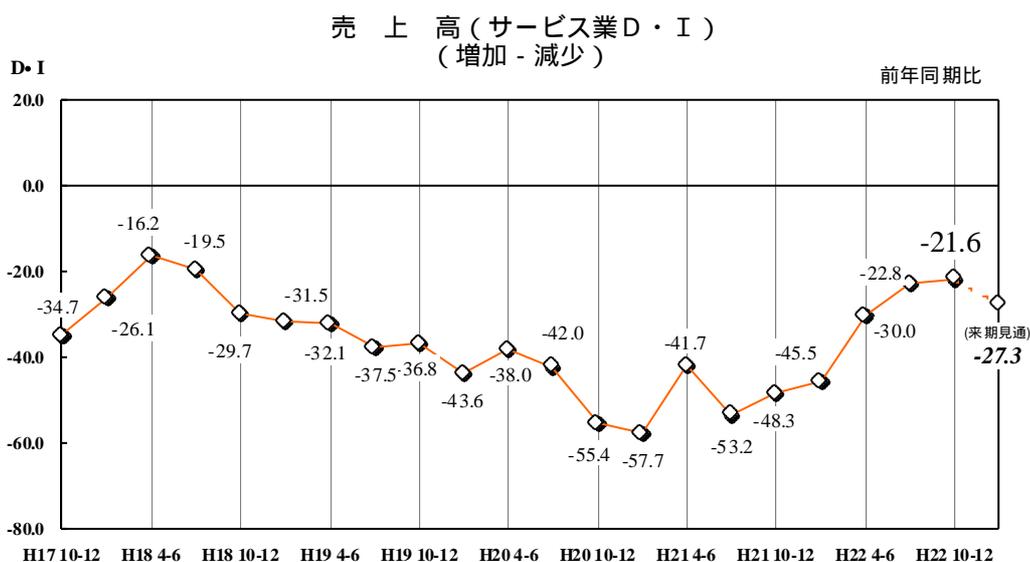
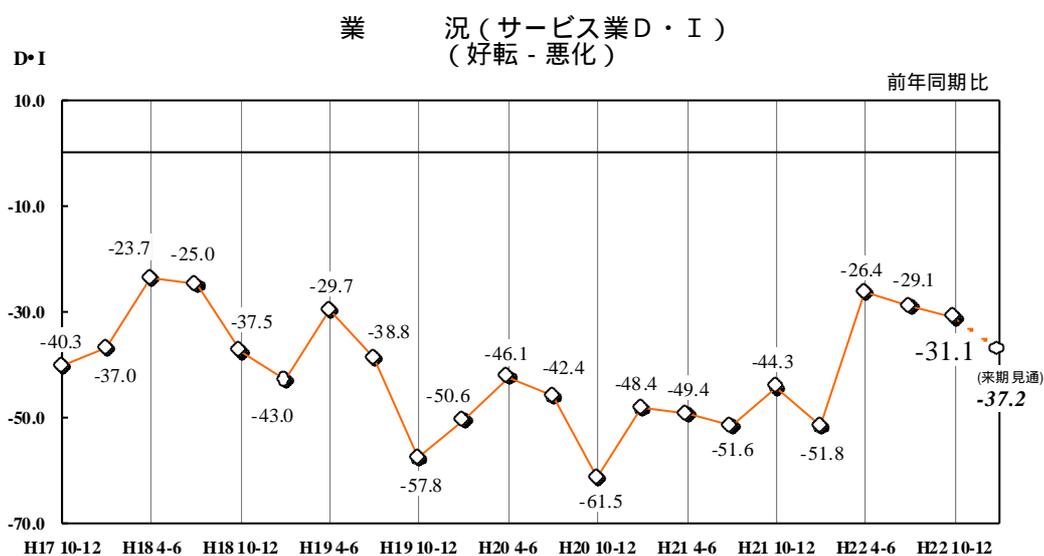
経営上の問題点

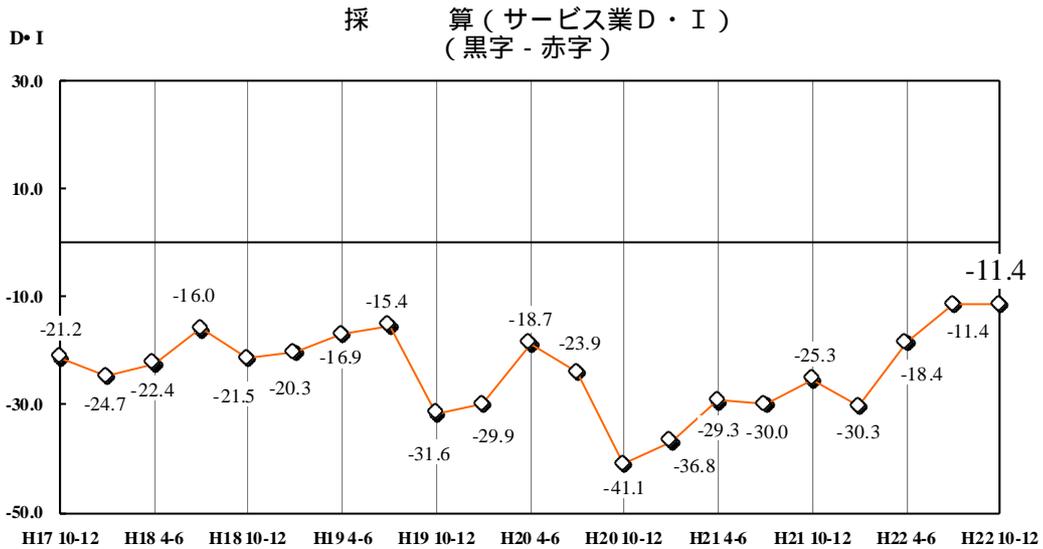


その他 (D・I値)

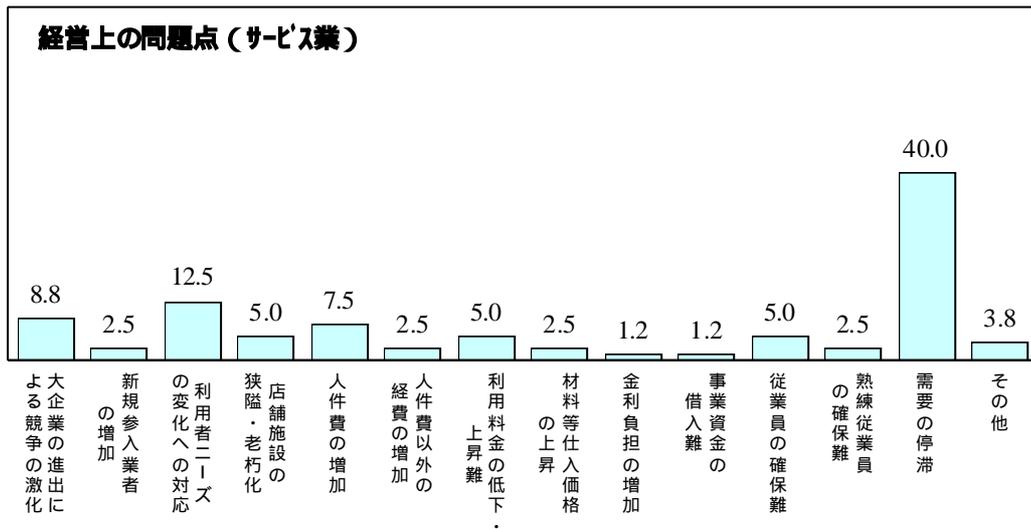
	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	28.3	25.7	34.3 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	26.1	29.7 (今期比)
短期 //	-----	18.9	19.3 (今期比)
商品在庫数量	20.0	-----	28.4 (前年同期比)

(5) サービス業





経営上の問題点



その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	21.2	23.5	27.0 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	23.1	28.6 (今期比)
短期 "	-----	19.4	22.2 (今期比)
利 用 客 数	22.6	24.1	23.8 (前年同期比)

業種別調査資料

1. 製造業

(1) 今期の水準 (単位: %)

区分	今期(平成22年10月~12月)の水準			
	↑	↔	↓	D・I
業況(自社)	6.6	31.1	62.3	-55.7
生産に対する原材料在庫	5.0	86.7	8.3	-3.3
売上に対する製品在庫	1.9	92.5	5.6	-3.7
採算(経常利益)	9.8	55.8	34.4	-24.6
引合	1.7	43.1	55.2	-53.5
生産設備	16.7	75.0	8.3	8.4
従業員(含臨時・パート)	11.5	85.2	3.3	8.2

↑ : 良い、過剰、黒字、活発
 ↔ : ぶつう、適正、収支トントン
 ↓ : 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区分	前年同期(平成21年10月~12月)に比べて				前期(平成22年7月~9月)に比べて				前年同期(平成21年10月~12月)と比べた来期(平成23年1月~3月)の見通し			
	↑	↔	↓	D・I	↑	↔	↓	D・I	↑	↔	↓	D・I
A 売上(加工)額	14.8	27.9	57.3	-42.5	18.0	27.9	54.1	-36.1	6.6	45.9	47.5	-40.9
B 売上(加工)単価	4.9	59.0	36.1	-31.2	3.3	63.9	32.8	-29.5	1.6	68.9	29.5	-27.9
C 売上(加工)数量	11.5	36.1	52.4	-40.9	18.0	36.1	45.9	-27.9	6.6	52.4	41.0	-34.4
D 資金繰り	4.9	60.7	34.4	-29.5	3.3	62.3	34.4	-31.1	1.6	60.7	37.7	-36.1
E 輸出額	0.0	75.0	25.0	-25.0					0.0	85.7	14.3	-14.3
F 原材料仕入単価	32.8	58.6	8.6	24.2					27.6	65.5	6.9	20.7
G 原材料在庫数量	3.6	75.0	21.4	-17.8					0.0	78.6	21.4	-21.4
H 製品在庫数量	2.0	74.5	23.5	-21.5					2.0	78.4	19.6	-17.6
I 採算(経常利益)	10.0	36.7	53.3	-43.3					0.0	51.7	48.3	-48.3
J 従業員(含臨時・パート)	5.1	76.3	18.6	-13.5					5.1	79.6	15.3	-10.2
K 外部人材(請負・派遣)	3.6	85.7	10.7	-7.1					7.1	82.2	10.7	-3.6
L 設備操業率	5.1	47.4	47.5	-42.4					5.1	54.2	40.7	-35.6
M 引合	1.8	48.2	50.0	-48.2								
N 受注残	3.7	57.4	38.9	-35.2								
	8.2	39.3	52.5	-44.3	5.0	51.7	43.3	-38.3	1.7	45.0	53.3	-51.6
O 業況(自社)	前年同期(平成21年10月~12月)に比べて				前期(平成22年7月~9月)に比べて				今期(平成22年10月~12月)と比べた来期(平成23年1月~3月)の見通し			
P 受取手形期間					2.6	94.8	2.6	0.0	4.9	45.9	49.2	-44.3
Q 長期資金借入難度					9.3	74.0	16.7	-7.4	9.1	70.9	20.0	-10.9
R 短期資金借入難度(含手形割引)					12.2	77.6	10.2	2.0	12.0	72.0	16.0	-4.0
S 借入金					1.9	84.6	13.5	-11.6	5.7	84.9	9.4	-3.7

↑ : 増加 ↑ : 上昇 ↑ : 好転 ↑ : 長期化 ↑ : 容易
 - : 不変(A, C, E, G, H, J, K, M, N) - : 不変(B, F, L, S) - : 不変(D, I, O) - : 不変(P) - : 不変(Q, R)
 ↓ : 減少 ↓ : 低下 ↓ : 悪化 ↓ : 短期化 ↓ : 困難

(3) 新規設備投資

(単位: %)

区分	実施・計画している	実施・計画していない								
		土地	工場建物	生産設備	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
今期	16.7	0.0	20.0	40.0	40.0	30.0	20.0	0.0	10.0	83.3
来期	11.9	0.0	0.0	42.9	14.3	0.0	0.0	0.0	42.9	88.1

(4) 今期直面している経営上の問題点

(単位: %)

問題点	1位	1~3位
大企業の進出による競争の激化	3.7	9.3
新規参入業者の増加	0.0	1.9
製品ニーズの変化への対応	3.7	18.5
生産設備の不足・老朽化	1.9	16.7
生産設備の過剰	0.0	0.0
原材料価格の上昇	3.7	25.9
原材料の不足	1.9	3.7
人件費の増加	0.0	16.7
原材料費・人件費以外の経費の増加	3.7	11.1
製品(加工)単価の低下・上昇難	14.8	33.3
金利負担の増加	0.0	0.0
取引条件の悪化	5.6	14.8
事業資金の借入難	0.0	5.6
従業員確保の難	0.0	1.9
熟練技術者の確保難	3.7	9.3
需要の停滞	55.4	79.6
その他	1.9	3.7

2. 建設業

(1) 今期の水準

(単位：%)

区分	今期(平成22年10月～12月)の水準			
	▲	▼	↔	D・I
業況(自社)	13.7	37.0	49.3	-35.6
採算(経常利益)	15.1	50.7	34.2	-19.1
引合	9.0	46.2	44.8	-35.8
従業員(含臨時・パート)	8.3	79.2	12.5	-4.2

▲：良い、過剰、黒字、活発
 ▼：ぶつづ、適正、収支トントン
 ↔：悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区分	前年同期(平成21年10月～12月)に比べて				前期(平成22年7月～9月)に比べて				前年同期(平成21年10月～12月)と比べた 来期(平成23年1月～3月)の見通し			
	▲	▼	↔	D・I	▲	▼	↔	D・I	▲	▼	↔	D・I
A 完成工事(請負工事)額	19.2	32.9	47.9	-28.7	25.0	37.5	37.5	-12.5	9.6	41.1	49.3	-39.7
B 資金繰り	2.8	69.4	27.8	-25.0	4.2	70.4	25.4	-21.2	1.4	66.7	31.9	-30.5
C 受注(新規契約工事)額	16.9	29.6	53.5	-36.6					14.1	39.4	46.5	-32.4
D 材料仕入単価	19.7	76.1	4.2	15.5					18.3	77.5	4.2	14.1
E 採算(経常利益)	6.8	41.1	52.1	-45.3					1.4	52.0	46.6	-45.2
F 従業員(含臨時・パート)	5.6	83.3	11.1	-5.5					0.0	83.3	16.7	-16.7
G 外部人材(請負・派遣)	12.5	73.4	14.1	-1.6					4.7	79.7	15.6	-10.9
H 引合	14.9	44.8	40.3	-25.4								
I 契約残(未消化工事高)	12.7	45.0	42.3	-29.6								
	9.6	43.8	46.6	-37.0	9.9	56.3	33.8	-23.9	4.2	55.5	40.3	-36.1
J 業況(自社)	前年同期(平成21年10月～12月)に比べて				前期(平成22年7月～9月)に比べて				今期(平成22年10月～12月)と比べた 来期(平成23年1月～3月)の見通し			
									4.1	46.6	49.3	-45.2
K 受取手形期間					1.9	98.1	0.0	1.9	5.8	94.2	0.0	5.8
L 長期資金借入難度					4.4	78.0	17.6	-13.2	2.9	79.5	17.6	-14.7
M 短期資金借入難度(含手形割引)					6.0	77.6	16.4	-10.4	6.0	77.6	16.4	-10.4
N 借入金金利					5.6	86.1	8.3	-2.7	2.8	94.4	2.8	0.0

▲：増加 ▲：上昇 ▲：好転 ▲：長期化 ▲：容易
 ▼：減少 ▼：低下 ▼：悪化 ▼：短期化 ▼：困難
 ↔：不変(A, C, F, G, H, I) ↔：不変(D, N) ↔：不変(B, E, J) ↔：不変(K) ↔：不変(L, M)

(3) 新規設備投資

(単位：%)

区分	実施・計画 している	実施・計画 していない								
		土地	建物	建設機械	車両・運搬具	付帯施設	O A 機器	福利厚生施設	その他	
今期	11.1	12.5	0.0	0.0	75.0	0.0	25.0	0.0	0.0	88.9
来期	5.8	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	94.2

(4) 今期直面している経営上の問題点

(単位：%)

問題点	1位	1～3位
大企業の進出による競争の激化	6.2	12.3
新規参入業者の増加	3.1	13.8
材料単価の上昇	1.5	13.8
材料の入手難	0.0	0.0
人件費の増加	0.0	6.2
材料費・人件費以外の経費の増加	1.5	7.7
請負単価の低下・上昇難	26.2	60.0
下請単価の上昇	0.0	4.6
金利負担の増加	0.0	3.1
取引条件の悪化	9.2	21.5
事業資金の借入難	4.6	7.7
従業員の確保難	0.0	3.1
熟練技術者の確保難	1.5	10.8
下請業者の確保難	0.0	1.5
官公需の停滞	30.9	63.1
民間需の停滞	13.8	50.8
その他	1.5	1.5

4.小 売 業

(1) 今期の水準 (単位: %)

区 分	今 期(平成22年10月～12月)の水準			
	↗	↘	D・I	
業 況 (自 社)	10.7	29.3	60.0	-49.3
売 上 対 する 原 材 料 在 庫	16.0	77.3	6.7	9.3
採 算 (経 常 利 益)	10.7	50.6	38.7	-28.0
従 業 員 (含 臨 時・パ ー ト)	8.6	82.8	8.6	0.0

↗ : 良い、過剰、黒字、活発
 - : ぶつづ、適正、収支トントン
 ↘ : 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区 分	前年同期(平成21年10月～12月)に比べて				前期(平成22年 7月～ 9月)に比べて				前年同期(平成21年10月～12月)と比べた 来 期(平成23年 1月～ 3月)の見通し			
	↗	↘	D・I		↗	↘	D・I		↗	↘	D・I	
A 売 上 額	12.0	32.0	56.0	-44.0	22.7	34.7	42.6	-19.9	12.2	41.9	45.9	-33.7
B 客 単 価	14.7	36.0	49.3	-34.6	16.0	49.3	34.7	-18.7	10.8	43.2	46.0	-35.2
C 客 数	8.0	40.0	52.0	-44.0	9.3	49.4	41.3	-32.0	9.5	45.9	44.6	-35.1
D 資 金 繰 り	6.8	58.1	36.1	-28.3	5.4	63.5	31.1	-25.7	4.1	57.5	38.4	-34.3
E 商 品 仕 入 単 価	16.4	65.8	17.8	-1.4					12.3	68.5	19.2	-6.9
F 商 品 仕 入 額	23.0	43.2	33.8	-10.8					12.3	52.1	35.6	-23.3
G 商 品 在 庫 数 量	16.0	48.0	36.0	-20.0					8.1	55.4	36.5	-28.4
H 採 算 (経 常 利 益)	9.6	42.5	47.9	-38.3					11.0	47.9	41.1	-30.1
I 従 業 員 (含 臨 時・パ ー ト)	5.9	83.8	10.3	-4.4					3.0	91.0	6.0	-3.0
J 外 部 人 材 (請 負・派 遣)	5.1	89.8	5.1	0.0					5.1	89.8	5.1	0.0
K 業 況 (自 社)	12.0	38.7	49.3	-37.3	16.9	38.0	45.1	-28.2	12.2	45.9	41.9	-29.7
	前年同期(平成21年10月～12月)に比べて				前期(平成22年 7月～ 9月)に比べて				今 期(平成22年10月～12月)と比べた 来 期(平成23年 1月～ 3月)の見通し			
									11.8	45.6	42.6	-30.8
L 長 期 資 金 借 入 難 度					3.1	67.7	29.2	-26.1	3.1	64.1	32.8	-29.7
M 短 期 資 金 借 入 難 度 (含 手 形 割 引)					5.2	70.7	24.1	-18.9	5.3	70.1	24.6	-19.3
N 借 入 金 利					6.0	85.0	9.0	-3.0	7.6	86.3	6.1	1.5

↗ : 増加
 - : 不変 (A, C, F, G, I, J)
 ↘ : 減少
 ↗ : 上昇
 - : 不変 (B, E, N)
 ↘ : 低下
 ↗ : 好転
 - : 不変 (D, H, K)
 ↘ : 悪化
 ↗ : 容易
 - : 不変 (L, M)
 ↘ : 困難

(3) 新規設備投資

(単位: %)

区 分	実施・計画 している									実施・計画 していない
		土 地	店 舗	販 売 設 備	車 両・運 搬 具	付 帯 施 設	O A 機 器	福 利 厚 生 施 設	そ の 他	
今 期	10.7	0.0	12.5	37.5	37.5	12.5	25.0	0.0	25.0	89.3
来 期	8.0	0.0	16.7	33.3	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0	92.0

(4) 今期直面している経営上の問題点

(単位: %)

問 題 点	1 位	1～3位
大・中型店の進出による競争の激化	19.2	35.6
同 業 者 の 進 出	4.1	11.0
購 買 力 の 他 地 域 へ の 流 出	5.5	21.9
消 費 者 ニ ー ズ の 変 化 へ の 対 応	12.3	28.8
店 舗 の 狭 隘・老 朽 化	0.0	5.5
駐 車 場 の 確 保 難	0.0	2.7
商 品 在 庫 の 過 剰	1.4	4.1
人 件 費 の 増 加	1.4	6.8
人 件 費 以 外 の 経 費 の 増 加	1.4	8.2
販 売 単 価 の 低 下・上 昇 難	9.6	31.5
仕 入 単 価 の 上 昇	6.8	12.3
金 利 負 担 の 増 加	0.0	0.0
代 金 回 収 の 悪 化	0.0	4.1
事 業 資 金 の 借 入 難	1.4	12.3
従 業 員 の 確 保 難	1.4	2.7
需 要 の 停 滞	31.4	58.9
そ の 他	4.1	4.1

5. サービス業

(1) 今期の水準 (単位: %)

区 分	今 期(平成22年10月～12月)の水準			
	↗	↘	↔	D・I
業 況(自 社)	11.2	42.7	46.1	-34.9
採 算(経常利益)	17.0	54.6	28.4	-11.4
従 業 員(含臨時・パート)	11.1	76.6	12.3	-1.2

↗ : 良い、過剰、黒字、活発
 - : ぶつう、適正、収支トントン
 ↘ : 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区 分	前年同期(平成21年10月～12月)に比べて				前期(平成22年 7月～ 9月)に比べて				前年同期(平成21年10月～12月)と比べた 来 期(平成23年 1月～ 3月)の見通し			
	↗	↘	↔	D・I	↗	↘	↔	D・I	↗	↘	↔	D・I
A 売 上 (収 入) 額	22.7	33.0	44.3	-21.6	20.5	36.4	43.1	-22.6	13.6	45.5	40.9	-27.3
B 客 単 価	2.3	64.4	33.3	-31.0	4.6	67.8	27.6	-23.0	2.3	70.1	27.6	-25.3
C 利 用 客 数	17.9	41.6	40.5	-22.6	14.5	46.9	38.6	-24.1	9.5	57.2	33.3	-23.8
D 資 金 繰 り	4.7	69.4	25.9	-21.2	4.7	67.1	28.2	-23.5	2.4	68.2	29.4	-27.0
E 仕 入 単 価 (材 料 等)	24.7	71.8	3.5	21.2					18.8	74.1	7.1	11.7
F 採 算 (経 常 利 益)	10.1	50.6	39.3	-29.2					6.7	54.0	39.3	-32.6
G 従 業 員 (含 臨 時 ・ パ ー ト)	13.8	63.7	22.5	-8.7					13.8	76.2	10.0	3.8
H 外 部 人 材 (請 負 ・ 派 遣)	17.2	70.7	12.1	5.1					10.3	79.4	10.3	0.0
I 業 況 (自 社)	12.6	43.7	43.7	-31.1	10.3	48.3	41.4	-31.1	8.1	46.6	45.3	-37.2
	前年同期(平成21年10月～12月)に比べて				前期(平成22年 7月～ 9月)に比べて				今 期(平成22年10月～12月)と比べた 来 期(平成23年 1月～ 3月)の見通し			
L 長 期 資 金 借 入 難 度					7.7	61.5	30.8	-23.1	2.6	66.2	31.2	-28.6
M 短 期 資 金 借 入 難 度 (含 手 形 割 引)					5.6	69.4	25.0	-19.4	2.8	72.2	25.0	-22.2
N 借 入 金 利					6.7	72.0	21.3	-14.6	9.3	81.4	9.3	0.0

↗ : 増加
 - : 不変 (A, C, G, H)
 ↘ : 減少
 ↗ : 上昇
 - : 不変 (B, E, N)
 ↘ : 低下
 ↗ : 好転
 - : 不変 (D, F, I)
 ↘ : 悪化
 ↗ : 容易
 - : 不変 (L, M)
 ↘ : 困難

(3) 新規設備投資

(単位: %)

区 分	実施・計画 している									実施・計画 していない
		土 地	建 物	サ-ビス設 備	車両・運搬具	付帯施設	O A 機器	福利厚生施設	そ の 他	
今 期	20.2	5.6	33.3	33.3	5.6	11.1	61.1	0.0	0.0	79.8
来 期	18.4	12.5	50.0	50.0	12.5	12.5	31.2	0.0	0.0	81.6

(4) 今期直面している経営上の問題点 (単位: %)

問 題 点	1 位	1～3位
大企業の進出による競争の激化	8.8	17.5
新規参入業者の増加	2.5	12.5
利用者ニーズの変化への対応	12.5	42.5
店舗施設の狭隘・老朽化	5.0	8.8
人件費の増加	7.5	16.2
人件費以外の経費の増加	2.5	13.8
利用料金の低下・上昇難	5.0	37.5
材料等仕入単価の上昇	2.5	8.8
金利負担の増加	1.2	5.0
事業資金の借入難	1.2	8.8
従業員の確保難	5.0	12.5
熟練従業員の確保難	2.5	12.5
需要の停滞	40.0	63.8
その他	3.8	3.8